

平成23年度 私費外国人留学生生活実態調査

概 要

平成24年10月

独立行政法人 日本学生支援機構 (JASSO)

はじめに

独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）は、文部科学省との緊密な連携の下に、学生支援を先導する中核機関として、奨学金貸与事業や留学生支援事業及び学生生活支援事業を総合的に実施し、次代の社会を担う豊かな人間性を備えた創造的な人材を育成するとともに、国際理解・交流の推進を図ることを目指しています。

平成23年5月現在、我が国で学んでいる外国人留学生数は、大学等の高等教育機関では、138,075人、日本語教育機関では、25,622人となっています（JASSO調べ）。

本機構では、平成24年1月に、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、専修学校（専門課程）、準備教育機関及び日本語教育機関に在籍する私費外国人留学生（7,000人）を対象に生活実態調査を実施しました。結果の概要は次のとおりです。

目 次

「平成23年度私費外国人留学生生活実態調査」結果の概要	1
I. 調査の目的と方法	3
1. 調査目的	3
2. 調査対象	3
3. 調査方法	3
4. 調査対象人数	3
5. 調査実施時期	3
II. 調査結果の内容	4
1. アンケート回答状況	4
2. 日本留学前の状況	7
3. 在日・在学年数及び入学前の活動	9
4. 留学後の日本への印象等	11
5. 収入	13
6. 奨学金	15
7. 支出	17
8. アルバイト	20
9. 授業時間を除く学習・研究時間	26
10. 宿舎	32
11. 授業料等の保証人	40
12. 健康	42
13. 卒業後の進路希望等	45
参考資料	
平成23年度私費外国人留学生生活実態調査 アンケート用紙	49

「平成23年度私費外国人留学生生活実態調査」結果の概要

1. アンケート回答状況

私費外国人留学生の中から無作為抽出により7,000人に対してアンケート用紙を送付し、6,193人から有効回答を得た。回答率は88.5%であった。

2. 日本留学前の状況

- (1) 日本を留学先として選んだ理由は、「日本社会に興味があり、日本で生活したかったため」(56.6%)が最も多い回答であった。
- (2) 留学するまでに特に苦労したことは、「日本語学習」(49.8%)が最も多い回答であった。
- (3) 留学情報の入手方法は、「親戚や友人に相談して」(37.8%)が最も多い回答であった。

3. 在日・在学年数及び入学前の活動

在日年数が「1年以上4年未満」の者は、3,947人と全体の約6割(63.7%)であった。また、来日後、現在在籍している大学等へ直接入学した者は、2,929人で全体の49.4%であった。なお、現在の大学等に直接入学しなかった者(2,986人)のうち、現在在籍する大学等の直前に日本語教育機関に在学していたと回答した者は、約6割の1,919人(64.3%)であった。

4. 留学後の日本への印象等

- (1) 日本に対する印象が「良くなった」とする回答は、73.2%であった。
- (2) 日本人に対する印象が「良くなった」とする回答は、66.1%であった。
- (3) 日本へ留学しての全体的な印象が「良かった」とする回答は、88.0%であった。
- (4) 留学後の苦労は、「物価が高い」(80.8%)が最も多い回答であった。

5. 収入

- (1) 収入の平均月額額は、138,000円であった。
- (2) 収入は、主に「アルバイト」及び「親・兄弟、又は親戚からの仕送り」であった。
- (3) 居住地域別の収入の平均月額額は、関東地方が151,000円と最も高く(東京のみでは154,000円)、東北地方及び四国地方が110,000円と最も低かった。

6. 奨学金

- (1) 全体の約5割(51.4%)の者が何らかの奨学金を受けていた。
- (2) 在籍段階別の奨学金受給率は、高い順に「大学院博士課程・博士後期課程」、「学部正規課程」、「大学院修士課程・博士前期課程」、「短期大学」であった。
- (3) 学習奨励費を受けて良かったことは、「日常生活に不安がなくなり、勉強に集中できた」(90.9%)が最も多い回答であった。
- (4) 学習奨励費の給付に対する要望は、「給付期間を1年間から延ばしてほしい」(59.3%)が最も多い回答であった。

7. 支出

- (1) 支出の平均月額額は、138,000円であった。
- (2) 支出のうち「学習研究費」が最も多く、次いで、「住居費」、「食費」の順であった。
- (3) 支出が最も高いのは、民間のアパートやマンションに住む専修学校(専門課程)生であり、平均月額額は154,000円であった。最も低いのは、国立大学に通い大学の学生寮に住んでいる学部レベルの学生で、平均月額額は89,000円であった。

8. アルバイト

- (1) 全体の7割以上(74.2%)の者が何らかのアルバイトに従事していた。
- (2) 職種は、軽労働の「飲食業」が2,243人で全体の半数近く(48.8%)であった。
- (3) 従事時間は、週平均「20時間以上25時間未満」が1,372人(29.9%)と最も多く、次いで、「15時間以上20時間未満」が1,056人(23.0%)であった。

9. 授業時間を除く学習・研究時間

- (1) 在籍段階別にみると、「大学院博士課程・博士後期課程」では、257人(60.6%)が「週35時間以上」勉強していると回答しているが、「学部正規課程」、「短期大学」、「日本語教育機関」の9割以上が、学習時間「週28時間未満」であり、その中でも特に「週7時間以上21時間未満」に集中していた。
- (2) 「医・歯学」分野の7割(71.6%)、「薬学」の6割(62.5%)、「農学」の5割(52.6%)以上は、「週28時間以上」を学習時間にあてている一方で、「人文科学」、「社会科学」、「教育」では、「週7時間以上14時間未満」、「理学」、「工学」、「日本語」では、「週14時間以上21時間未満」、「家政」では「週7時間未満」が最も多い回答であった。

10. 宿舍

- (1) 住居の形態は、「民間アパート・マンション等」に居住する者が、4,614人(74.5%)と最も多かった。
- (2) 一人当たりの専有面積は、15㎡(約9畳)未満の者が全体の約8割(78.4%)であった。また、7割以上の者が、個別のキッチン、バス・シャワー、トイレ付きの部屋に居住していた。
- (3) 同居人の有無について、単身と同居、それぞれ約5割と同率であった。また、同居のうち「2人で生活(同居人1人)」は1,467人(47.5%)、「3人で生活(同居人2人)」は928人(30.0%)であった。同居人の種類は、「外国人留学生」が1,776人(57.5%)と最も多い回答であった。
- (4) 住居費の全国平均月額額は34,000円で、関東地方が40,000円と最も高かった。
- (5) 宿舍入居の際に保証人を求められたと回答した者は、半数以上(56.0%)の3,471人となっていた。また、保証人は、「大学・学校(代表者)」が1,000人(28.8%)と最も多かった。

11. 授業料等の保証人

授業料等の保証人を「求められた」と回答した者は約6割(59.2%)の3,669人であった。また、保証人は、「親族」が2,527人(68.9%)と最も多かった。

12. 健康

- (1) 健康保険に加入している者は、全体の97.1%(6,013人)であった。
- (2) 健康保険加入者の中では、日本の国民健康保険に加入している者が94.9%(5,705人)であった。
- (3) 健康保険未加入者172人のうち、未加入理由は「保険料が高すぎる」と回答した者が68人(39.5%)で最も多かった。

13. 卒業後の進路希望等

- (1) 卒業後の予定は、「日本において就職希望」が最も多く(52.2%)、次いで、「日本において進学希望」であった(49.6%)。
- (2) 「日本において就職希望」と回答した者の就職希望分野は、「海外業務」1,515人(46.8%)が最も多く、次いで、「翻訳・通訳」1,120人(34.6%)、「販売・営業」906人(28.0%)であった。
- (3) 就職活動時の要望は、「留学生を対象とした就職に関する情報の充実」が2,291人(70.8%)で最も多く、次いで、「企業においてもっと留学生を対象とした就職説明会を開催してほしい」が1,364人(42.2%)であった。

※調査結果の率(%)合計値について、四捨五入や集計値の違いによって、若干の誤差が生じておりますので、あらかじめご承知おきください。

I. 調査の目的と方法

1. 調査目的

この調査は、我が国で学ぶ私費外国人留学生の標準的な生活の状況を把握するとともに、経済的な実状等を明らかにすることにより、独立行政法人日本学生支援機構が実施する私費外国人留学生に対する各種の支援事業を改善、充実を図るための基礎資料として活用することを目的とした。

2. 調査対象

我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、専修学校（専門課程）、準備教育機関及び日本語教育機関（以下「大学等」という。）に在籍する私費外国人留学生（出入国管理及び難民認定法の別表等1に定める「留学」の在留資格を有する者）を対象とし、国費外国人留学生、外国政府が派遣する政府派遣留学生及び在籍期間が1年未満の交換留学生・短期留学生は対象に含まないこととした。

3. 調査方法

全国の大学等の協力を得て、調査協力校に在籍する私費外国人留学生を無作為抽出し、所定のアンケート用紙及びアンケート回答用紙（無記名）を送付し、アンケート回答用紙を回収した。

なお、調査協力校の選定にあたっては、大学等の外国人留学生在籍率及び地域分布等を考慮した。

4. 調査対象人数

7,000人（国立大学 77校 1,120人、公立大学 18校 140人、私立大学 239校 2,940人、短期大学 18校 70人、専修学校（専門課程） 150校 1,330人、日本語教育機関 162校 1,400人）

5. 調査実施時期

平成 24 年 1 月

Ⅱ. 調査結果の内容

1. アンケート回答状況

私費外国人留学生 7,000 人にアンケートを送付し、有効回答を 6,193 人から得た（有効回答回収率 88.5%）。

回答者の性別（第 1-1 表）は、男性が 2,926 人（47.2%）、女性が 3,264 人（52.7%）であった。

出身国・地域別の回答者数（第 1-2 表）は、「中国」が最も多く 3,809 人（61.5%）、以下、「韓国」が 808 人（13.0%）、「台湾」が 322 人（5.2%）、「ベトナム」が 244 人（3.9%）、「ネパール」が 164 人（2.6%）と続いており、アジア出身者が全回答者数の 95.8%となっている。

回答者の在籍学校別内訳（第 1-3 表）は、「国立大学」が 1,009 人（16.3%）、「公立大学」が 109 人（1.8%）、「私立大学」が 2,685 人（43.4%）、「短期大学」が 60 人（1.0%）、「専修学校（専門課程）」が 1,115 人（18.0%）、「日本語教育機関」が 1,215 人（19.6%）であった。

在籍段階別の回答者数（第 1-4 表）は、回答者の多い順に、「学部正規課程」が 2,304 人（37.2%）、「日本語教育機関」が 1,123 人（18.1%）、「専修学校（専門課程）」が 967 人（15.6%）、「大学院修士課程・博士前期課程」が 823 人（13.3%）、「大学院博士課程・博士後期課程」が 424 人（6.8%）、「学部レベルの研究生・聴講生」が 87 人（1.4%）、「大学院レベルの研究生」が 79 人（1.3%）、「短期大学」が 62 人（1.0%）、「専門職大学院課程」が 58 人（0.9%）と続いている。

専攻分野別の回答者数（第 1-5 表）は、同様に、「社会科学」が 1,912 人（30.9%）、「日本語」が 1,579 人（25.5%）、「工学」が 628 人（10.1%）、「人文科学」が 555 人（9.0%）と続いている。

第 1-1 表 回答者の性別 (Q1 参照)

区分	男性	女性	不明	計
人数 (人)	2,926	3,264	3	6,193
率 (%)	47.2	52.7	0.0	100.0

第 1-2 表 出身国・地域別の回答者数

	国・地域	人数	%	
アジア	中国	3,809	61.5	
	韓国	808	13.0	
	台湾	322	5.2	
	ベトナム	244	3.9	
	ネパール	164	2.6	
	ミャンマー	98	1.6	
	タイ	98	1.6	
	マレーシア	86	1.4	
	インドネシア	81	1.3	
	モンゴル	68	1.1	
	バングラデシュ	52	0.8	
	スリランカ	39	0.6	
	インド	24	0.4	
	フィリピン	11	0.2	
	パキスタン	9	0.1	
	シンガポール	7	0.1	
	カンボジア	5	0.1	
	ラオス	2	0.0	
	モルディブ	2	0.0	
	ブルネイ	1	0.0	
	小計	5,930	95.8	
アフリカ	エジプト	8	0.1	
	タンザニア	2	0.0	
	モロッコ	2	0.0	
	ウガンダ	2	0.0	
	スーダン	1	0.0	
	リビア	1	0.0	
	チュニジア	1	0.0	
	コンゴ民主共和国	1	0.0	
	ナイジェリア	1	0.0	
	ガーナ	1	0.0	
	カメルーン	1	0.0	
	ザンビア	1	0.0	
	コートジボワール	1	0.0	
	セネガル	1	0.0	
	南アフリカ	1	0.0	
	ボツワナ	1	0.0	
	マリ	1	0.0	
		小計	27	0.4
	北米	米国	43	0.7
		カナダ	9	0.1
		小計	52	0.8

(Q2 参照)

	国・地域	人数	%
中近東	イラン	9	0.1
	トルコ	5	0.1
	サウジアラビア	2	0.0
	シリア	1	0.0
	アフガニスタン	1	0.0
		小計	18
中南米	ブラジル	7	0.1
	メキシコ	6	0.1
	コロンビア	3	0.0
	アルゼンチン	2	0.0
	ボリビア	1	0.0
	ペルー	1	0.0
	小計	20	0.3
ヨーロッパ	フランス	25	0.4
	ロシア	24	0.4
	スウェーデン	20	0.3
	ドイツ	12	0.2
	イタリア	8	0.1
	スペイン	5	0.1
	英国	4	0.1
	ウクライナ	4	0.1
	ウズベキスタン	4	0.1
	オランダ	3	0.0
	スイス	3	0.0
	カザフスタン	3	0.0
	ブルガリア	2	0.0
	エストニア	2	0.0
	フィンランド	1	0.0
	ノルウェー	1	0.0
	ギリシャ	1	0.0
	オーストリア	1	0.0
	ポーランド	1	0.0
	セルビア	1	0.0
ラトビア	1	0.0	
アゼルバイジャン	1	0.0	
	小計	127	2.1
オセアニア	オーストラリア	9	0.1
		小計	9
その他	その他の国・地域	7	0.1
	不明	3	0.0
		小計	10
合計		6,193	100.0

第 1-3 表 回答者の在籍学校別内訳

(Q10・11 参照)

	大学				短期大学	専修学校 (専門課程)	日本語 教育機関	計
	国立	公立	私立	大学計				
調査対象人数	1,120	140	2,940	4,200	70	1,330	1,400	7,000
回答人数	1,009	109	2,685	3,803	60	1,115	1,215	6,193
率 (%)	16.3	1.8	43.4	61.4	1.0	18.0	19.6	100.0
回収率 (%)	90.1	77.9	91.3	90.5	85.7	83.8	86.8	88.5

(注) 回収率は、在籍学校別の有効回答回収率を示す。

第 1-4 表 在籍段階別の回答者数

(Q11 参照)

区分	大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職大 学院課程	大学院レ ベルの研 究生	学部正規 課程	学部レベ ルの研究 生・聴講 生	短期大学	専修学校 (専門課程)	日本語 教育機関	その他	不明	計
人数(人)	424	823	58	79	2,304	87	62	967	1,123	209	57	6,193
率(%)	6.8	13.3	0.9	1.3	37.2	1.4	1.0	15.6	18.1	3.4	0.9	100.0

第 1-5 表 専攻分野別の回答者数

(Q12 参照)

区分	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	日本語	その他	不明	計
人数(人)	555	1,912	160	628	114	67	16	93	165	1,579	857	47	6,193
率(%)	9.0	30.9	2.6	10.1	1.8	1.1	0.3	1.5	2.7	25.5	13.8	0.8	100.0

(注) その他は、別科、専攻科に在籍するものを示す。

2. 日本留学前の状況

留学の目的（第2-1表）は、「学位を取得する」が最も多く、3,657人（59.1%）、「就職に必要な進んだ技能や知識を身に付ける」が3,370人（54.4%）、「国際的な経験をつんで、国際的な人脈を作りたい」が2,777人（44.8%）、「国際的な考え方を身に付けたい」が2,260人（36.5%）、「教養を身に付ける」が1,667人（26.9%）となっている。

第2-1表 留学の目的（複数回答設問）（Q3参照）

区分	学位を取得する	教養を身に付ける	就職に必要な進んだ技能や知識を身に付ける	国際的な経験をつんで、国際的な人脈を作りたい	国際的な考え方を身に付けたい	良い環境で研究を行う	日本語の能力を高めた	他文化に接する	その他	不明
人数(人)	3,657	1,667	3,370	2,777	2,260	937	1,641	1,102	84	4
率(%)	59.1	26.9	54.4	44.8	36.5	15.1	26.5	17.8	1.4	0.1
平成21年率(%)	54.6	17.5	54.0	47.4	33.0	12.4	41.5	21.1	1.0	0.1
平成19年率(%)	55.2	19.5	50.3	45.8	34.5	10.5	40.8	21.6	1.2	0.1

日本を留学先として選んだ理由（第2-2表）としては、「日本社会に興味があり、日本で生活したかったため」が3,504人（56.6%）で最も多く、次いで、「日本語・日本文化を勉強したかったため」が3,073人（49.6%）、「日本の大学等の教育、研究が魅力的と思ったため」が2,099人（33.9%）と続く。

第2-2表 日本を留学先として選んだ理由（複数回答設問）（Q4参照）

区分	日本社会に興味があり、日本で生活したかったため	日本の大学等の教育、研究が魅力的と思ったため	地理的に近い	興味ある専門分野があったため	異文化に接したかったため	日本語・日本文化を勉強したかったため	日本と関連のある職業に就きたかったため	奨学金を得られたため	友人、知人、家族等に勧められたため	大学間交流等により勧められたため	その他	不明
人数(人)	3,504	2,099	1,302	1,432	1,494	3,073	1,763	201	1,447	279	117	3
率(%)	56.6	33.9	21.0	23.1	24.1	49.6	28.5	3.2	23.4	4.5	1.9	0.0
平成21年率(%)	53.1	33.2	21.1	25.1	22.3	46.4	29.3	4.0	26.4	4.7	1.0	0.1
平成19年率(%)	47.3	29.9	21.2	23.6	21.6	45.0	28.8	4.8	27.9	3.8	1.7	0.2

留学するまでに特に苦労したこと（第2-3表）は、「日本語学習」が最も多く、3,085人（49.8%）、次いで、「留学資金準備」が3,064人（49.5%）、「情報の収集」が2,749人（44.4%）となっている。

第2-3表 留学するまでに特に苦労したこと（複数回答設問）（Q5参照）

区分	情報の収集	日本語学習	留学先学校との事前連絡	留学ビザ取得	留学資金準備	入学試験	その他	不明
人数(人)	2,749	3,085	1,612	1,735	3,064	1,362	273	24
率(%)	44.4	49.8	26.0	28.0	49.5	22.0	4.4	0.4
平成21年率(%)	38.3	54.6	23.7	34.5	47.5	24.0	2.7	0.6
平成19年率(%)	36.7	52.7	21.3	33.7	44.9	21.2	2.8	0.5

留学情報の入手方法（第 2-4 表）としては、「親戚や友人に相談して」が最も多く、2,342 人（37.8%）、次いで、「入学を希望する学校に直接問い合わせして」が 2,054 人（33.2%）、「インターネットを利用して学校や日本学生支援機構（JASSO）のホームページを検索して」が 1,999 人（32.3%）と続いている。

第 2-4 表 留学情報の入手方法（複数回答設問）

（Q6 参照）

区分	日本留学フェア、教育展等に参加して	入学を希望する学校に直接問い合わせして	在外日本大使館等の在外公館に問い合わせして	母国の政府教育機関に問い合わせして	日本学生支援機構（JASSO）に問い合わせして	インターネットを利用して学校や日本学生支援機構（JASSO）のHPを検索して	その他の民間団体に問い合わせをして	日本の出版物を購入して	母国の学校や教員に相談して	親戚や友人に相談して	その他	不明
人数（人）	1,721	2,054	376	1,112	305	1,999	935	203	1,348	2,342	194	9
率（%）	27.8	33.2	6.1	18.0	4.9	32.3	15.1	3.3	21.8	37.8	3.1	0.1
平成 21 年率（%）	19.3	23.5	4.5	11.8	3.2	37.3	16.6	5.0	30.4	47.0	2.6	0.4
平成 19 年率（%）	18.6	27.5	4.9	12.5	2.7	35.7	22.1	6.1	30.7	—	11.8	0.5

3. 在日・在学年数及び入学前の活動

在日年数（第3-1表）は、「1年以上2年未満」の1,735人（28.0%）が最も多く、次いで、「2年以上3年未満」が1,136人（18.3%）、「3年以上4年未満」が1,076人（17.4%）と続き、在日年数が「1年以上4年未満」の者が3,947人（63.7%）で全体の約6割である。

第3-1表 在日年数

（Q7参照）

区分	1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～4年未満	4年～5年未満	5年～6年未満	6年以上	不明	計
人数（人）	802	1,735	1,136	1,076	578	409	427	30	6,193
率（%）	13.0	28.0	18.3	17.4	9.3	6.6	6.9	0.5	100.0
平成21年率（%）	9.1	20.9	20.7	20.2	11.3	7.4	10.2	0.3	100.0
平成19年率（%）	7.8	16.7	20.5	17.4	16.9	11.4	9.0	0.2	100.0

在籍段階別の在日年数（第3-2表）を見ると、「大学院博士課程・博士後期課程」の約半数（48.8%）が在日4年以上であり、課程の段階が上がるにつれて在日年数が増えている。

第3-2表 在籍段階別の在日年数

（Q7・11参照）

区分		1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～4年未満	4年～5年未満	5年～6年未満	6年以上	不明	計
大学院博士課程・博士後期課程	人数（人）	31	51	67	66	53	45	109	2	424
	率（%）	7.3	12.0	15.8	15.6	12.5	10.6	25.7	0.5	100.0
大学院修士課程・博士前期課程	人数（人）	86	188	183	119	64	46	133	4	823
	率（%）	10.4	22.8	22.2	14.5	7.8	5.6	16.2	0.5	100.0
専門職大学院課程	人数（人）	6	17	12	8	7	4	3	1	58
	率（%）	10.3	29.3	20.7	13.8	12.1	6.9	5.2	1.7	100.0
大学院レベルの研究生	人数（人）	16	18	16	9	3	4	12	1	79
	率（%）	20.3	22.8	20.3	11.4	3.8	5.1	15.2	1.3	100.0
学部正規課程	人数（人）	162	357	492	563	367	236	122	5	2,304
	率（%）	7.0	15.5	21.4	24.4	15.9	10.2	5.3	0.2	100.0
学部レベルの研究生・聴講生	人数（人）	14	17	13	9	11	15	8	0	87
	率（%）	16.1	19.5	14.9	10.3	12.6	17.2	9.2	0.0	100.0
短期大学	人数（人）	11	22	9	9	7	0	4	0	62
	率（%）	17.7	35.5	14.5	14.5	11.3	0.0	6.5	0.0	100.0
専修学校（専門課程）	人数（人）	83	250	289	247	44	37	14	3	967
	率（%）	8.6	25.9	29.9	25.5	4.6	3.8	1.4	0.3	100.0
日本語教育機関	人数（人）	332	746	20	7	1	5	6	6	1,123
	率（%）	29.6	66.4	1.8	0.6	0.1	0.4	0.5	0.5	100.0
その他	人数（人）	52	45	28	33	18	13	12	8	209
	率（%）	24.9	21.5	13.4	15.8	8.6	6.2	5.7	3.8	100.0
不明	人数（人）	9	24	7	6	3	4	4	0	57
	率（%）	15.8	42.1	12.3	10.5	5.3	7.0	7.0	0.0	100.0
合計	人数（人）	802	1,735	1,136	1,076	578	409	427	30	6,193
	率（%）	13.0	28.0	18.3	17.4	9.3	6.6	6.9	0.5	100.0

第3-2表の在籍段階における「その他」と「不明」を除いた5,927人のうち、来日後、「現在通っている大学・学校にすぐ入学した」と回答した者は、2,929人（49.4%）、「現在在籍している以外の学校に通ったり、就労等の経験がある」と回答した者は、2,986人（50.4%）である。

以下の表（第3-3表及び第3-4表）は、在籍段階別の在籍学生の経路と直接入学以外の者の在籍段階別の直近状況をまとめたものである。

第3-3表 在籍段階別の在籍学生の経路 (Q8・11 参照)

区分		大学院	大学院	専門職大	大学院レ	学部正規	学部レベ	短期大学	専修学校 (専門課程)	日本語 教育機関	計
		博士課程 博士後期 課程	修士課程 博士前期 課程	学院課程	ベルの研 究生	課程	ルの研究 生・聴講 生				
直接入学の者	人数(人)	213	314	31	53	887	38	42	407	944	2,929
	率(%)	50.2	38.2	53.4	67.1	38.5	43.7	67.7	42.1	84.1	49.4
	平成21年率(%)	46.4	34.3	42.6	39.7	33.5	44.4	62.2	39.6	—	37.1
	平成19年率(%)	41.3	25.2	39.5	50.0	26.7	51.0	37.4	30.2	—	29.4
直接入学以外の者	人数(人)	211	509	26	26	1,412	49	20	557	176	2,986
	率(%)	49.8	61.8	44.8	32.9	61.3	56.3	32.3	57.6	15.7	50.4
	平成21年率(%)	53.6	65.3	57.4	58.6	66.3	53.3	36.7	59.4	—	62.4
	平成19年率(%)	58.5	74.5	60.5	50.0	73.3	47.0	62.6	69.5	—	70.4
不明	人数(人)	0	0	1	0	5	0	0	3	3	12
	率(%)	0.0	0.0	1.7	0.0	0.2	0.0	0.0	0.3	0.3	0.2
	平成21年率(%)	0.0	0.3	0.0	1.7	0.2	2.2	1.0	1.0	—	0.5
	平成19年率(%)	0.2	0.4	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.4	—	0.2
合計	人数(人)	424	823	58	79	2,304	87	62	967	1,123	5,927
	率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(注) 直接入学の者とは、現在在籍している大学・学校にすぐ入学した者を示す。

また、直接入学以外の者とは、現在在籍している以外の大学に通う他、就労等の経験がある者を示す。

第3-4表 直接入学以外の者の在籍段階別の直近状況 (Q9・11 参照)

区分		大学院	大学院	専門職大	大学院レ	学部正規	学部レベ	短期大学	専修学校 (専門課程)	日本語 教育機関	計
		博士課程 博士後期 課程	修士課程 博士前期 課程	学院課程	ベルの研 究生	課程	ルの研究 生・聴講 生				
日本語教育機関	人数(人)	69	230	15	20	977	34	12	447	115	1,919
	率(%)	32.7	45.2	57.7	76.9	69.2	69.4	60.0	80.3	65.3	64.3
留学生別科	人数(人)	23	60	2	1	167	3	1	20	4	281
	率(%)	10.9	11.8	7.7	3.8	11.8	6.1	5.0	3.6	2.3	9.4
大学の学部	人数(人)	23	81	2	2	49	1	0	10	10	178
	率(%)	10.9	15.9	7.7	7.7	3.5	2.0	0.0	1.8	5.7	6.0
短期大学	人数(人)	1	3	0	0	17	2	1	6	0	30
	率(%)	0.5	0.6	0.0	0.0	1.2	4.1	5.0	1.1	0.0	1.0
高等専門学校	人数(人)	0	13	0	1	45	2	0	11	7	79
	率(%)	0.0	2.6	0.0	3.8	3.2	4.1	0.0	2.0	4.0	2.6
専修学校 (専門課程)	人数(人)	4	7	2	1	78	2	4	30	1	129
	率(%)	1.9	1.4	7.7	3.8	5.5	4.1	20.0	5.4	0.6	4.3
大学院	人数(人)	49	53	2	1	5	2	0	3	1	116
	率(%)	23.2	10.4	7.7	3.8	0.4	4.1	0.0	0.5	0.6	3.9
働いていた	人数(人)	15	15	0	0	12	1	1	14	22	80
	率(%)	7.1	2.9	0.0	0.0	0.8	2.0	5.0	2.5	12.5	2.7
その他	人数(人)	25	44	0	0	50	2	1	10	12	144
	率(%)	11.8	8.6	0.0	0.0	3.5	4.1	5.0	1.8	6.8	4.8
不明	人数(人)	2	3	3	0	12	0	0	6	4	30
	率(%)	0.9	0.6	11.5	0.0	0.8	0.0	0.0	1.1	2.3	1.0
合計	人数(人)	211	509	26	26	1,412	49	20	557	176	2,986
	率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(注) 1. 回答者数は、第3-3表の直接入学以外の者の数(2,986人)

2. 率は、第3-3表の各在籍段階別で直接入学以外を回答した者を100とした割合

4. 留学後の日本への印象等

留学後の日本に対する印象（第 4-1 表）は、「良くなった」と回答した者が 4,536 人（73.2%）で約 7 割となっており、「悪くなった」と回答した者は 178 人（2.9%）である。

第 4-1 表 留学後の日本に対する印象 (Q17 参照)

区分	良くなった	悪くなった	どちらともいえない	不明	計
人数 (人)	4,536	178	1,418	61	6,193
率 (%)	73.2	2.9	22.9	1.0	100.0
平成 21 年率 (%)	68.4	3.8	26.8	0.9	100.0
平成 19 年率 (%)	68.0	3.8	27.8	0.5	100.0

留学後の日本人に対する印象（第 4-2 表）は、「良くなった」と回答した者が 4,091 人（66.1%）で約 6 割となっており、「悪くなった」と回答した者は 257 人（4.1%）である。

第 4-2 表 留学後の日本人に対する印象 (Q18 参照)

区分	良くなった	悪くなった	どちらともいえない	不明	計
人数 (人)	4,091	257	1,822	23	6,193
率 (%)	66.1	4.1	29.4	0.4	100.0
平成 21 年率 (%)	60.3	5.8	33.6	0.3	100.0
平成 19 年率 (%)	59.6	6.0	34.1	0.3	100.0

日本へ留学しての全体的な印象（第 4-3 表）は、留学して「良かった」と回答した者が 5,451 人（88.0%）で 9 割近くになっており、「悪かった」と回答した者は 54 人（0.9%）である。

第 4-3 表 日本へ留学しての全体的な印象 (Q19 参照)

区分	良かった	悪かった	どちらともいえない	不明	計
人数 (人)	5,451	54	657	31	6,193
率 (%)	88.0	0.9	10.6	0.5	100.0
平成 21 年率 (%)	85.1	1.4	13.0	0.5	100.0
平成 19 年率 (%)	86.1	1.0	12.4	0.5	100.0

在日年数別の日本へ留学しての全体的な印象（第 4-4 表）を見ると、「良かった」が全項目で 8 割以上であり（在日年数不明者の項目を除く）、在日年数が「6 年以上」（92.3%）が最も高い回答率となっている。在日年数が多くなるほど、印象が良くなる傾向がある。

第 4-4 表 在日年数別の日本へ留学しての全体的な印象 (Q7・19 参照)

区分		良かった	悪かった	どちらともいえない	不明	計	
在日年数	1 年未満	人数 (人)	706	8	81	7	802
		率 (%)	88.0	1.0	10.1	0.9	100.0
	1 年～2 年未満	人数 (人)	1,494	16	222	3	1,735
		率 (%)	86.1	0.9	12.8	0.2	100.0
	2 年～3 年未満	人数 (人)	1,008	13	108	7	1,136
		率 (%)	88.7	1.1	9.5	0.6	100.0
	3 年～4 年未満	人数 (人)	933	7	129	7	1,076
		率 (%)	86.7	0.7	12.0	0.7	100.0
	4 年～5 年未満	人数 (人)	520	2	53	3	578
		率 (%)	90.0	0.3	9.2	0.5	100.0
	5 年～6 年未満	人数 (人)	373	4	29	3	409
		率 (%)	91.2	1.0	7.1	0.7	100.0
	6 年以上	人数 (人)	394	4	29	0	427
		率 (%)	92.3	0.9	6.8	0.0	100.0
不明	人数 (人)	23	0	6	1	30	
	率 (%)	76.7	0.0	20.0	3.3	100.0	
合計	人数 (人)	5,451	54	657	31	6,193	
	率 (%)	88.0	0.9	10.6	0.5	100.0	

留学後の苦勞（第 4-5 表）としては、「物価が高い」と回答した者が 5,007 人（80.8%）で約 8 割となっており、次いで、「日本語の習得」が 2,051 人（33.1%）、「日常生活における母国の習慣（生活習慣、宗教上の習慣等）との違い」が 1,752 人（28.3%）となっている。

第 4-5 表 留学後の苦勞（複数回答設問） (Q20 参照)

区分	物価が高い	日常生活における母国の習慣（生活習慣、宗教上の習慣等）との違い	宿舍等を探ること	宿舍等におけるルール（ゴミ出し等）を守ること	日本語の習得	英語の習得	学校内で日本人学生と交流できないこと	学校の教員、職員とのコミュニケーションが取れないこと	学校の授業についていくこと	その他	不明
人数 (人)	5,007	1,752	1,461	482	2,051	823	1,385	314	837	402	42
率 (%)	80.8	28.3	23.6	7.8	33.1	13.3	22.4	5.1	13.5	6.5	0.7
平成 21 年率 (%)	80.0	28.7	25.0	6.3	36.2	14.7	24.1	6.5	16.3	4.5	0.6
平成 19 年率 (%)	76.7	27.3	28.4	6.8	35.5	14.3	24.3	5.8	14.7	4.4	0.5

5. 収入

全体の平均月収入額は、138,000 円である。在籍段階別の平均月収入額（第 5-1 表）を比較すると、「専修学校（専門課程）」が 151,000 円で最も高く、以下、「専門職大学院課程」が 141,000 円、「学部正規課程」が 140,000 円、「大学院博士課程・博士後期課程」及び「日本語教育機関」が 137,000 円、「学部レベルの研究生・聴講生」が 128,000 円、「大学院修士課程・博士前期課程」が 126,000 円、「短期大学」が 124,000 円、「大学院レベルの研究生」が 122,000 円と続いている。

第 5-1 表 在籍段階別の平均月収入額（全体と在籍段階別）（Q11・21 参照）

区分	大学院博士課程 博士後期課程	大学院修士課程 博士前期課程	専門職大 学院課程	大学院レ ベルの研 究生	学部正規 課程	学部レベ ルの研究 生・聴講生	短期大学	専修学校 (専門課程)	日本語 教育機関	全体
平均月額（千円）	137	126	141	122	140	128	124	151	137	138
平成 21 年（千円）	136	127	153	113	136	123	151	149	—	138
平成 19 年（千円）	130	128	146	111	140	131	133	150	—	138

（注）平均月額は、Q21 及び Q23 で収入・支出の同額者（4,854 人）の各項目の平均

学校種別による平均月収入額（第 5-2 表）を見ると、「専修学校（専門課程）」の 150,000 円が最も高く、次いで、「私立大学」の 145,000 円、「日本語教育機関」の 135,000 円と続いている。

第 5-2 表 学校種別による平均月収入額（Q10・11・21 参照）

区分	大学			短期大学	専修学校 (専門課程)	日本語教育機関	全体
	国立	公立	私立				
平均月額（千円）	114	115	145	124	150	135	138
平成 21 年（千円）	114	111	143	151	148	—	138
平成 19 年（千円）	112	110	146	133	148	—	138

（注）平均月額は、Q21 及び Q23 で収入・支出の同額者（4,854 人）の各項目の平均

項目別平均月収入額（第 5-3 表）については、回答の多い順に、「アルバイト」が 3,759 人（77.4%）で 65,000 円、「親・兄弟、又は親戚からの仕送り」が 3,297 人（67.9%）で 72,000 円、「奨学金」が 2,497 人（51.4%）で 58,000 円、「保証人等知人からの援助」が 315 人（6.5%）で 51,000 円、「配偶者の収入」が 116 人（2.4%）で 108,000 円となっている。

第 5-3 表 項目別平均月収入額（Q21 参照）

区分	親・兄弟、又は親 戚からの仕送り	アルバイト	奨学金	保証人等知人から の援助	配偶者の収入	その他
人数（人）	3,297	3,759	2,497	315	116	637
率（%）	67.9	77.4	51.4	6.5	2.4	13.1
平均月額（千円）	72	65	58	51	108	23

- （注）1. 回答者数は、Q21 及び Q23 で収入・支出の同額者（4,854 人）
2. 率は、Q21 及び Q23 で収入・支出の同額者を 100 とした割合
3. 平均月額は、各項目の平均

また、項目別の平均月収入の割合（第 5-4 表）を年度別比較で見ると、「アルバイト」、「奨学金」、「配偶者の収入」が減り、「親・兄弟又は親戚からの仕送り」、「保証人等知人からの援助」が増えている。

第 5-4 表 項目別の平均月収入の割合（年度別比較表）（Q21 参照）

調査年度	親・兄弟、又は親戚からの仕送り	アルバイト	奨学金	保証人等知人からの援助	配偶者の収入	その他
率 (%)	67.9	77.4	51.4	6.5	2.4	13.1
平成 21 年率 (%)	64.4	78.1	63.8	6.1	3.2	12.6
平成 19 年率 (%)	64.1	81.3	51.2	5.3	3.8	18.7
平均月額 (千円)	72	65	58	51	108	23
平成 21 年 (千円)	66	63	58	43	109	22
平成 19 年 (千円)	63	69	60	39	97	28

居住地域別平均月収入額（第 5-5 表）は、関東地方が 151,000 円と全国で最も高く、東北地方及び四国地方が 110,000 円と最も低い。なお、東京のみでは、154,000 円となっている。

第 5-5 表 居住地域別平均月収入額（Q21・26 参照）

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
平均月額 (千円)	111	110	151	127	134	119	110	121	154	138
平成 21 年 (千円)	114	110	154	127	134	118	111	114	160	138
平成 19 年 (千円)	118	111	152	132	133	121	100	115	155	138

（注）平均月額は、Q21 及び Q23 で収入・支出の同額者（4,854 人）の各項目の平均

第 5-6 表 居住地域別の項目別収入内訳（Q21・26 参照）

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
親・兄弟、又は親戚からの仕送り	29	33	57	35	50	35	25	42	63	49
アルバイト	35	36	55	52	43	49	35	45	55	50
奨学金	40	30	28	31	34	31	33	27	27	30
保証人等知人からの援助	2	3	4	3	3	2	4	2	4	3
配偶者の収入	0	4	2	3	2	2	10	3	2	3
その他	4	4	3	3	2	2	3	3	3	3

6. 奨学金

奨学金の受給者は 2,497 人で、全体（Q21 及び Q23 で収入・支出の同額者 4,854 人）の約半数となっている。奨学金の受給内容内訳（第 6-1 表）を回答の多い順に見ると、「日本学生支援機構の奨学金（学習奨励費）」が 1,622 人（65.0%）で平均月額 51,000 円、「大学・学校からの奨学金」が 382 人（15.3%）で 41,000 円、「民間団体の奨学金」が 275 人（11.0%）で 91,000 円、「その他の奨学金」が 246 人（9.9%）で 69,000 円、「地方自治体（都道府県市区町村）による援助金」が 73 人（2.9%）で 56,000 円である。

第 6-1 表 奨学金の受給内容内訳

（Q21 参照）

区分	日本学生支援機構の奨学金	大学・学校からの奨学金	地方自治体（都道府県市区町村）による援助金	民間団体の奨学金	その他の奨学金
人数（人）	1,622	382	73	275	246
率（%）	65.0	15.3	2.9	11.0	9.9
平均月額（千円）	51	41	56	91	69

（注）1. 回答者数は、第 5-3 表で奨学金を受給していると回答した数（2,497 人）

2. 率は、奨学金を受給していると回答した者を 100 とした割合

3. 平均月額は、各項目の平均

第 6-2 表 奨学金の受給内容（年度別比較表）

（Q21 参照）

	日本学生支援機構の奨学金	大学・学校からの奨学金	地方自治体（都道府県市区町村）による援助金	民間団体の奨学金	その他の奨学金
人数（人）	1,622	382	73	275	246
率（%）	65.0	15.3	2.9	11.0	9.9
平成 21 年率（%）	69.6	12.2	2.3	10.1	10.0
平成 19 年率（%）	70.7	—	5.7	14.6	12.3
平均月額（千円）	51	41	56	91	69
平成 21 年（千円）	54	42	32	93	66
平成 19 年（千円）	54	—	30	84	63

在籍学校別奨学金受給者（第 6-3 表）を見ると、「国立大学」が 573 人（63.9%）で、平均が 75,000 円と最も高く、最も低い金額は、「専修学校（専門課程）」で 380 人（46.0%）で 49,000 円となっている。

第 6-3 表 在籍学校別奨学金受給者

（Q10・11・21 参照）

区分	大学				短期大学	専修学校（専門課程）	日本語教育機関	不明	計	奨学金非受給者	計
	国立	公立	私立	大学計							
人数（人）	573	71	1,267	1,911	24	380	182	0	2,497	2,357	4,854
率（%）	63.9	73.2	59.8	61.4	48.0	46.0	21.0	0.0	51.4	48.6	100.0
平成 21 年率（%）	76.5	76.7	66.6	69.8	64.7	46.3	—	0.0	63.8	36.2	100.0
平成 19 年率（%）	56.9	58.9	56.2	56.4	59.7	28.1	—	70.6	51.2	48.8	100.0
平均月額（千円）	75	68	54	61	54	49	51	0	58	—	—
平成 21 年（千円）	72	66	55	61	47	48	—	0	60	—	—
平成 19 年（千円）	79	69	54	61	49	50	—	69	60	—	—

（注）1. 回答者数は、Q21 及び Q23 で収入・支出の同額者（4,854 人）

2. 率は、第 1-3 表の各在籍学校別の回答者のうち、Q21 及び Q23 で収入・支出の同額者を 100 とした割合

3. 平均月額は、各項目の平均

在籍段階別奨学金受給者（第6-4表）を見ると、最も受給率が高いのは「大学院博士課程・博士後期課程」の69.9%（253人）で、平均月額額は89,000円である。次いで、「学部正規課程」の60.4%（1,115人、51,000円）、「大学院修士課程・博士前期課程」の60.3%（426人、71,000円）、「短期大学」の48.0%（24人、54,000円）、「専修学校（専門課程）」の47.0%（339人、47,000円）と続いている。最も受給率が低いのは、「日本語教育機関」の23.4%（197人、53,000円）である。

第6-4表 在籍段階別奨学金受給者 (Q11・21参照)

区分	大学院博士課程 博士後期課程	大学院修士課程 博士前期課程	専門職大学院課程	大学院レベルの 研究生	学部正規課程	学部レベルの 研究生・聴講生	短期大学	専修学校 (専門課程)	日本語教育機関	その他	不明	計
人数(人)	253	426	14	19	1,115	24	24	339	197	72	14	2,497
率(%)	69.9	60.3	45.2	33.9	60.4	40.0	48.0	47.0	23.4	48.6	46.7	51.4
平成21年率(%)	82.2	73.7	63.0	40.0	68.1	45.3	64.7	46.7	—	48.6	47.1	63.8
平成19年率(%)	68.7	52.7	40.9	25.9	58.0	32.4	59.7	27.9	—	36.6	34.3	51.2
平均月額(千円)	89	71	56	64	51	50	54	47	53	47	49	58
平成21年(千円)	84	72	59	55	51	49	47	48	—	51	72	58
平成19年(千円)	85	78	73	91	51	48	49	50	—	50	51	60

- (注) 1. 回答者数は、第5-3表で奨学金を受給していると回答した数(2,497人)
 2. 率は、第1-4表の各在籍段階別の回答者のうち、Q21及びQ23で収入・支出の同額者を100とした割合
 3. 平均月額は、各項目の平均

学習奨励費を受けて良かったこと（第6-5表）を見ると、「日常生活に不安がなくなり、勉強に集中できた」が1,475人（90.9%）で最も多い。次いで、「成績が良くなれば、学習奨励費を受けられると思ひになった」が1,254人（77.3%）となっている。

第6-5表 学習奨励費を受けて良かったこと (複数回答設問) (Q22(1)参照)

区分	日常生活に不安が なくなり、勉強に 集中できた	成績が良くなれば、 学習奨励費を受け られると思ひにな った	奨学金があるので 学校のクラブ活動 等に参加できるよ うになった	宿舎を探すのにも 奨学金があると有 利だった	その他	不明
人数(人)	1,475	1,254	428	269	78	34
率(%)	90.9	77.3	26.4	16.6	4.8	2.1
平成21年率(%)	90.7	70.4	25.8	16.8	3.7	4.1
平成19年率(%)	89.0	70.1	25.2	16.0	3.7	5.0

- (注) 1. 回答者数は、第6-1表で日本学生支援機構の奨学金(学習奨励費)を受給していると回答した数(1,622人)
 2. 率は、日本学生支援機構の奨学金(学習奨励費)を受給していると回答した者を100とした割合

次に、学習奨励費(日本学生支援機構奨学金)受給者の学習奨励費の給付に対する要望(第6-6表)は、「給付期間を1年間から延ばしてほしい」が962人(59.3%)で最も多く、次いで、「給付金額の増額」が896人(55.2%)、「受給者数の増加」826人(50.9%)と続き、いずれも他の項目と比較して強い要望がある。

第6-6表 学習奨励費の給付に対する要望 (複数回答設問) (Q22(2)参照)

区分	給付金額の増額	受給者数の増加	海外で奨学金予 約ができるよう に予約者数を増 やして欲しい	給付期間を1年 間から延ばして ほしい	母国において、 学習奨励費の情 報が少なかった ので、もっと情 報提供して欲し い	学校内での選考 について、もっ と情報提供して ほしい	その他	不明
人数(人)	896	826	208	962	443	469	25	36
率(%)	55.2	50.9	12.8	59.3	27.3	28.9	1.5	2.2
平成21年率(%)	63.2	42.6	10.7	59.8	24.1	27.9	0.8	4.5
平成19年率(%)	54.0	44.5	9.8	58.1	23.3	26.8	1.7	4.5

- (注) 1. 回答者数は、第6-1表で日本学生支援機構の奨学金(学習奨励費)を受給していると回答した数(1,622人)
 2. 率は、日本学生支援機構の奨学金(学習奨励費)を受給していると回答した者を100とした割合

7. 支出

在籍段階別の平均月支出額（第 7-1 表）を見ると、「専修学校（専門課程）」が 151,000 円で最も高い。次いで、「専門職大学院課程」が 141,000 円、「学部正規課程」が 140,000 円、「大学院博士課程・博士後期課程」及び「日本語教育機関」が 137,000 円、「学部レベルの研究生・聴講生」が 128,000 円、「大学院修士課程・博士前期課程」が 126,000 円、「短期大学」が 124,000 円、「大学院レベルの研究生」が 122,000 円と続いている。なお、支出の平均月額額は 138,000 円である。

第 7-1 表 在籍段階別の平均月支出額（全体と在籍段階別）（Q11・23 参照）

区分	大学院博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職 大学院課 程	大学院レ ベルの研 究生	学部 正規課程	学部レ ベルの研 究生・聴 講生	短期大学	専修学校 （専門課程）	日本語 教育機関	全体
平均月額（千円）	137	126	141	122	140	128	124	151	137	138
平成 21 年（千円）	136	127	153	113	136	123	151	149	-	138
平成 19 年（千円）	130	128	146	111	140	131	133	150	-	138

（注）平均月額は、Q21 及び Q23 で収入・支出の同額者（4,854 人）の各項目の平均

居住地域別の平均月支出額（第 7-2 表）を見ると、関東地方が平均 151,000 円と全国で最も高く、東北地方及び四国地方が 110,000 円と最も低い。なお、東京のみでは、154,000 円となっている。

第 7-2 表 居住地域別の平均月支出額（Q23・26 参照）

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
平均月額（千円）	111	110	151	127	134	119	110	121	154	138
平成 21 年（千円）	114	110	154	127	134	118	111	114	160	138
平成 19 年（千円）	118	111	152	132	133	121	100	115	155	138

（注）平均月額は、Q21 及び Q23 で収入・支出の同額者（4,854 人）の各項目の平均

第 7-3 表 居住地域別の項目別支出内訳（Q23・26 参照）（単位：千円）

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
学習研究費	35	34	55	46	49	42	31	44	55	49
通学費	2	3	5	4	4	3	1	3	5	4
食費	24	24	25	24	24	24	26	23	25	25
住居費	25	21	37	26	32	23	22	25	40	32
電気、ガス、水道料金	8	8	7	8	6	9	7	7	6	7
保険、医療費	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2
趣味、娯楽費	5	4	6	4	5	4	3	4	6	5
その他の日常的な経費	5	7	7	6	6	6	8	6	7	6
残額	5	6	8	6	7	6	9	7	8	7

項目別平均月支出額（第 7-4 表）を見ると、「学習研究費」が 54,000 円と最も高く、以下「住居費」が 34,000 円、「食費」が 25,000 円、「その他の日常的な経費」が 11,000 円、「電気、ガス、水道料金」及び「趣味・娯楽費」が 8,000 円と続いている。

第 7-4 表 項目別平均月支出額（Q23 参照）

区分	学習研究費	通学費	食費	住居費	電気、ガス、 水道料金	保険、医療費	趣味、娯楽費	その他の日 常的な経費	残額
人数（人）	4,409	2,736	4,721	4,636	4,240	3,737	2,827	2,854	2,603
率（%）	90.8	56.4	97.3	95.5	87.4	77.0	58.2	58.8	53.6
平均月額（千円）	54	7	25	34	8	3	8	11	13

（注）1. 回答者数は、Q21 及び Q23 で収入・支出の同額者（4,854 人）
2. 率は、Q21 及び Q23 で収入・支出の同額者を 100 とした割合
3. 平均月額は、各項目の平均

「学習研究費」の内訳（第 7-5 表）を見ると、「授業料」の平均月額が 52,000 円、「教科書、実習材料、文具等の経費」が 8,000 円、「サークル活動の会費、合宿費」が 5,000 円となっている。

第 7-5 表 学習研究費の内訳 (Q10・11・23 参照)

区分	授業料*	(授業料内訳) 学校種別						教科書、実習材料、文具等の経費*	サークル活動の会費、合宿費*
		国立	公立	私立	短期大学	専修学校(専門課程)	日本語教育機関		
人数(人)	4,229	725	73	1,894	38	728	771	2,244	374
率(%)	87.1	80.8	75.3	89.5	76.0	88.1	88.9	46.2	7.7
平均月額(千円)	52	34	33	57	54	60	52	8	5

- (注) 1. * 印の率は、Q21 及び Q23 で収入・支出の同額者(4,854 人)を 100 とした割合
 2. 学校種別の率は、第 1-3 表の各在籍学校別の回答者数のうち、Q21 及び Q23 で収入・支出の同額者を 100 とした割合
 3. 平均月額は、各項目の平均

第 7-6 表 項目別平均月支出額 (年度別比較表) (Q23 参照)

区分	学習研究費		通学費	食費	住居費	電気、ガス、水道料金	保険、医療費	趣味、娯楽費	その他の日常的な経費	残額
	授業料	授業料以外								
人数(人)	4,229	2,618	2,736	4,721	4,636	4,240	3,737	2,827	2,854	2,603
平成 21 年(人)	3,940	2,530	2,815	4,500	4,403	4,117	3,352	2,702	2,338	2,450
平成 19 年(人)	3,809	2,599	2,711	4,180	4,076	3,745	2,772	2,338	2,533	1,830
平均月額(千円)	52	9	7	25	34	8	3	8	11	13
平成 21 年(千円)	51	9	7	26	34	8	3	8	12	12
平成 19 年(千円)	51	9	8	25	34	8	3	9	12	17

- (注) 1. 回答者数は、Q21 及び Q23 で収入・支出の同額者(4,854 人)
 2. 平均月額は、各項目の平均

宿舎形態と在籍学校区分による平均月支出額（第 7-7 表）については、「その他」を除き、「民間アパート・マンション等」に居住する専修学校（専門課程）生が最も高く、154,000 円を支出していることがわかる。最も低いのは、国立大学に通い大学の学生寮に住んでいる学部レベルの学生で、89,000 円である。宿舎については、第 10 節で詳しくふれる。

※大学院レベルの学生は、博士課程・博士後期課程、修士課程・博士前期課程、専門職大学院課程、大学院レベルの研究生を示し、学部レベルの学生は、学部正規課程、学部レベルの研究生・聴講生を示す。

第 7-7 表 宿舎形態と在籍学校区分による平均月支出額 (Q10・11・23・27 参照)

区分	国立大学				公立大学				
	大学院レベルの学生	学部レベルの学生	不明	全体	大学院レベルの学生	学部レベルの学生	不明	全体	
民間アパート・マンション等	人数 (人)	365	173	6	544	29	33	3	65
	平均支出額 (千円)	119	114	135	118	130	104	118	116
大学・学校の学生寮 (留学生用・一般学生用)	人数 (人)	177	70	3	250	12	11	0	23
	平均支出額 (千円)	104	89	77	100	93	109	0	100
その他	人数 (人)	76	19	2	97	6	1	0	7
	平均支出額 (千円)	138	113	72	132	150	128	0	147
不明	人数 (人)	5	1	0	6	1	1	0	2
	平均支出額 (千円)	112	110	0	112	100	130	0	115
合計	人数 (人)	623	263	11	897	48	46	3	97
	平均支出額 (千円)	117	107	108	114	122	106	118	115

区分	私立大学				短期大学	専修学校 (専門課程)	日本語 教育 機関	合計	
	大学院レベルの学生	学部レベルの学生	不明	全体					
民間アパート・マンション等	人数 (人)	343	1,293	98	1,734	32	644	636	3,655
	平均支出額 (千円)	149	149	135	148	131	154	137	142
大学・学校の学生寮 (留学生用・一般学生用)	人数 (人)	38	152	15	205	12	115	149	754
	平均支出額 (千円)	134	130	134	131	93	133	131	119
その他	人数 (人)	51	98	14	163	3	65	75	410
	平均支出額 (千円)	146	138	131	140	109	141	129	136
不明	人数 (人)	4	7	4	15	3	2	7	35
	平均支出額 (千円)	141	141	103	131	190	175	125	133
合計	人数 (人)	436	1,550	131	2,117	50	826	867	4,854
	平均支出額 (千円)	147	146	134	145	124	150	135	138

(注) 1. 回答者数は、Q21 及び Q23 で収入・支出の同額者 (4,854 人)
2. 平均支出額は、各項目の平均

8. アルバイト

アルバイト従事率（第 8-1 表）は全体の 7 割以上（74.2%）で、何らかのアルバイトをしている。

第 8-1 表 アルバイト従事率

（Q24 参照）

区分	アルバイトをしている	アルバイトをしていない	不明	計
人数（人）	4,594	1,585	14	6,193
率（%）	74.2	25.6	0.2	100.0
平成 21 年率（%）	75.5	23.8	0.7	100.0
平成 19 年率（%）	80.9	18.2	0.9	100.0

在籍学校別アルバイト従事率（第 8-2 表）を見ると、国立大学（66.2%）、公立大学（68.8%）の従事率が 7 割以下であり、私立大学、短期大学、専修学校（専門課程）、日本語教育機関と比べて低い。

第 8-2 表 在籍学校別アルバイト従事率

（Q10・11・24 参照）

区分	大学				短期大学	専修学校 (専門課程)	日本語 教育機関	不明	計
	国立	公立	私立	大学計					
人数（人）	668	75	2,091	2,834	50	828	882	0	4,594
率（%）	66.2	68.8	77.9	74.5	83.3	74.3	72.6	0.0	74.2
平成 21 年率（%）	63.7	79.4	79.4	75.2	72.0	76.3	—	0.0	75.5
平成 19 年率（%）	67.8	84.9	85.2	80.8	89.1	80.5	—	84.2	80.9

（注）率は、第 1-3 表の各在籍学校別の回答者数を 100 とした割合

在籍段階別アルバイト従事率（第 8-3 表）を見ると、「短期大学」（83.9%）は 8 割以上の者がアルバイトに従事している。

第 8-3 表 在籍段階別アルバイト従事率

（Q11・24 参照）

区分	大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職大 学院課程	大学院レ ベルの研 究生	学部正規 課程	学部レベ ルの研究 生・聴講 生	短期大学	専修学校 (専門課程)	日本語 教育機関	その他	不明	計
人数（人）	258	589	43	59	1,808	68	52	768	761	141	47	4,594
率（%）	60.8	71.6	74.1	74.7	78.5	78.2	83.9	79.4	67.8	67.5	82.5	74.2
平成 21 年率（%）	61.7	70.7	68.1	79.3	79.7	71.1	71.4	77.7	—	63.1	67.9	75.5
平成 19 年率（%）	66.1	74.1	71.1	64.3	86.8	61.0	89.0	80.7	—	79.8	73.4	80.9

（注）率は、第 1-4 表の各在籍段階別の回答者数を 100 とした割合

アルバイトの職種（第8-4表）は、軽労働の「飲食業」が2,243人（48.8%）と最も多くなっている。以下、「営業・販売（コンビニ等）」が1,163人（25.3%）、「語学教師」が345人（7.5%）、「ホテル受付・ホール係」が260人（5.7%）と続いている。

第8-4表 アルバイトの職種（複数回答設問）（Q25(1)参照）

区分	講師				事務		軽労働					
	家庭教師	語学教師	塾講師	ティーチングアシスタント・リサーチアシスタント	一般事務	計算事務	清掃	警備	ビル管理	ガソリンスタンド	配達	発送作業
人数（人）	148	345	50	253	167	31	206	7	5	2	79	42
率（%）	3.2	7.5	1.1	5.5	3.6	0.7	4.5	0.2	0.1	0.0	1.7	0.9
平成21年率（%）	3.2	6.6	1.3	7.4	3.0	0.5	3.6	0.2	0.1	0.2	1.5	0.5
平成19年率（%）	3.8	10.5	0.8	—	5.9	1.2	4.0	0.4	0.3	0.4	2.2	0.5

区分	軽労働				重労働				特殊技能			その他
	飲食業	営業・販売（コンビニ等）	ホテル受付・ホール係	出版物等の印刷作業	土木・建設作業	引越業	工場・組立作業	倉庫整理	翻訳・通訳	コンピュータ・プログラマー、オペレーター	コンピュータ・グラフィック・デザイナー	
人数（人）	2,243	1,163	260	13	4	16	168	65	195	19	4	250
率（%）	48.8	25.3	5.7	0.3	0.1	0.3	3.7	1.4	4.2	0.4	0.1	5.4
平成21年率（%）	51.8	25.5	6.9	0.3	0.2	0.3	3.6	0.9	3.8	0.6	0.4	2.9
平成19年率（%）	55.1	17.8	—	0.3	0.3	0.4	4.6	1.0	—	1.7	1.1	9.7

区分	不明
人数（人）	27
率（%）	0.6
平成21年率（%）	0.6
平成19年率（%）	0.4

（注）1. 回答者数は、第8-1表でアルバイトをしていると回答した数（4,594人）
 2. 率は、アルバイトをしていると回答した者を100とした割合

1週間のアルバイトの時間数（第8-5表）は、「週20時間以上25時間未満」が1,372人（29.9%）と最も多く、次いで、「週15時間以上20時間未満」が1,056人（23.0%）となっている。

在籍段階別では、「大学院博士課程・博士後期課程」及び「大学院修士課程・博士前期課程」で「週15時間未満」が半数以上となっているが、「専門職大学院課程」、「学部正規課程」、「学部レベルの研究生・聴講生」、「短期大学」、「専修学校（専門課程）」、「日本語教育機関」では逆に「週15時間以上」が6割以上である。

第8-5表 1週間のアルバイトの時間数（全体と在籍段階別）（Q11・25(2)参照）

区分		5時間未満	5時間～10時間未満	10時間～15時間未満	15時間～20時間未満	20時間～25時間未満	25時間以上	不明	計
大学院博士課程・博士後期課程	人数(人)	37	35	63	46	42	20	15	258
	率(%)	14.3	13.6	24.4	17.8	16.3	7.8	5.8	100.0
大学院修士課程・博士前期課程	人数(人)	53	115	134	136	99	34	18	589
	率(%)	9.0	19.5	22.8	23.1	16.8	5.8	3.1	100.0
専門職大学院課程	人数(人)	1	6	6	12	16	1	1	43
	率(%)	2.3	14.0	14.0	27.9	37.2	2.3	2.3	100.0
大学院レベルの研究生	人数(人)	6	8	15	10	15	3	2	59
	率(%)	10.2	13.6	25.4	16.9	25.4	5.1	3.4	100.0
学部正規課程	人数(人)	101	197	316	429	525	161	79	1,808
	率(%)	5.6	10.9	17.5	23.7	29.0	8.9	4.4	100.0
学部レベルの研究生・聴講生	人数(人)	3	2	21	14	23	4	1	68
	率(%)	4.4	2.9	30.9	20.6	33.8	5.9	1.5	100.0
短期大学	人数(人)	0	6	9	10	21	3	3	52
	率(%)	0.0	11.5	17.3	19.2	40.4	5.8	5.8	100.0
専修学校（専門課程）	人数(人)	40	40	99	167	298	100	24	768
	率(%)	5.2	5.2	12.9	21.7	38.8	13.0	3.1	100.0
日本語教育機関	人数(人)	36	62	92	184	275	90	22	761
	率(%)	4.7	8.1	12.1	24.2	36.1	11.8	2.9	100.0
その他	人数(人)	4	7	21	44	37	12	16	141
	率(%)	2.8	5.0	14.9	31.2	26.2	8.5	11.3	100.0
不明	人数(人)	1	6	3	4	21	8	4	47
	率(%)	2.1	12.8	6.4	8.5	44.7	17.0	8.5	100.0
合計	人数(人)	282	484	779	1,056	1,372	436	185	4,594
	率(%)	6.1	10.5	17.0	23.0	29.9	9.5	4.0	100.0
	平成21年率(%)	5.8	12.9	18.7	22.6	26.4	10.0	3.6	100.0
	平成19年率(%)	7.0	11.4	15.7	23.2	32.0	9.5	1.1	100.0

(注) 回答者数は、第8-1表でアルバイトをしていると回答した数(4,594人)

奨学金受給の有無別に分けると、奨学金受給者のアルバイト時間数（第 8-6 表）は、全体では「週 20 時間以上 25 時間未満」が 482 人（25.7%）と最も多く、次いで、「週 15 時間以上 20 時間未満」が 452 人（24.1%）となっている。

また、在籍段階別では、「大学院博士課程・博士後期課程」、「大学院修士課程・博士前期課程」、「大学院レベルの研究生」は「週 15 時間未満」が半数以上となっているが、「学部正規課程」、「学部レベルの研究生・聴講生」、「専修学校（専門課程）」、「日本語教育機関」は「週 15 時間以上」が 6 割以上となっている。

第 8-6 表 奨学金受給者のアルバイト時間数（全体と在籍段階別）（Q11・25(2) 参照）

区分		5時間未満	5時間～10時間未満	10時間～15時間未満	15時間～20時間未満	20時間～25時間未満	25時間以上	不明	計
大学院博士課程・博士後期課程	人数(人)	27	19	37	26	20	8	7	144
	率(%)	18.8	13.2	25.7	18.1	13.9	5.6	4.9	100.0
大学院修士課程・博士前期課程	人数(人)	39	64	76	57	39	15	10	300
	率(%)	13.0	21.3	25.3	19.0	13.0	5.0	3.3	100.0
専門職大学院課程	人数(人)	0	3	0	2	2	1	1	9
	率(%)	0.0	33.3	0.0	22.2	22.2	11.1	11.1	100.0
大学院レベルの研究生	人数(人)	1	3	5	2	2	0	0	13
	率(%)	7.7	23.1	38.5	15.4	15.4	0.0	0.0	100.0
学部正規課程	人数(人)	43	113	169	241	233	60	31	890
	率(%)	4.8	12.7	19.0	27.1	26.2	6.7	3.5	100.0
学部レベルの研究生・聴講生	人数(人)	0	0	8	7	4	2	0	21
	率(%)	0.0	0.0	38.1	33.3	19.0	9.5	0.0	100.0
短期大学	人数(人)	0	3	4	2	7	1	1	18
	率(%)	0.0	16.7	22.2	11.1	38.9	5.6	5.6	100.0
専修学校（専門課程）	人数(人)	13	15	50	68	104	31	5	286
	率(%)	4.5	5.2	17.5	23.8	36.4	10.8	1.7	100.0
日本語教育機関	人数(人)	7	16	14	28	58	7	3	133
	率(%)	5.3	12.0	10.5	21.1	43.6	5.3	2.3	100.0
その他	人数(人)	3	5	9	18	9	5	3	52
	率(%)	5.8	9.6	17.3	34.6	17.3	9.6	5.8	100.0
不明	人数(人)	0	2	2	1	4	2	2	13
	率(%)	0.0	15.4	15.4	7.7	30.8	15.4	15.4	100.0
合計	人数(人)	133	243	374	452	482	132	63	1,879
	率(%)	7.1	12.9	19.9	24.1	25.7	7.0	3.4	100.0
	平成 21 年率(%)	6.1	15.7	20.9	23.7	23.2	7.4	2.9	100.0
	平成 19 年率(%)	7.6	13.4	18.4	24.8	27.5	7.5	0.9	100.0

（注）回答者数は、第 8-1 表でアルバイトをしていると回答し、かつ奨学金を受給していると回答した数（1,879 人）

奨学金非受給者のアルバイト時間数（第8-7表）は、全体では「週20時間以上25時間未満」が606人（34.0%）と最も多く、次いで、「週15時間以上20時間未満」が406人（22.8%）となっている。

在籍段階別では、「学部レベルの研究生・聴講生」、「短期大学」、「専修学校（専門課程）」、「日本語教育機関」では「週15時間以上」アルバイトをしている割合が7割以上となっている。

また、第8-6表と第8-7表から奨学金受給者と非受給者のアルバイト時間数を比較すると、「週15時間以上」アルバイトをする者は、奨学金受給者の56.7%に対して、非受給者は68.6%となり、非受給者の方がアルバイトに費やす時間が多いことがわかる。

第8-7表 奨学金非受給者のアルバイト時間数（全体と在籍段階別）（Q11・25(2)参照）

区分		5時間未満	5時間～10時間未満	10時間～15時間未満	15時間～20時間未満	20時間～25時間未満	25時間以上	不明	計
大学院博士課程・博士後期課程	人数(人)	6	8	18	17	16	11	4	80
	率(%)	7.5	10.0	22.5	21.3	20.0	13.8	5.0	100.0
大学院修士課程・博士前期課程	人数(人)	9	37	41	58	50	13	6	214
	率(%)	4.2	17.3	19.2	27.1	23.4	6.1	2.8	100.0
専門職大学院課程	人数(人)	0	2	3	4	7	0	0	16
	率(%)	0.0	12.5	18.8	25.0	43.8	0.0	0.0	100.0
大学院レベルの研究生	人数(人)	2	4	5	5	9	2	1	28
	率(%)	7.1	14.3	17.9	17.9	32.1	7.1	3.6	100.0
学部正規課程	人数(人)	29	48	94	118	199	72	22	582
	率(%)	5.0	8.2	16.2	20.3	34.2	12.4	3.8	100.0
学部レベルの研究生・聴講生	人数(人)	0	1	6	7	10	1	0	25
	率(%)	0.0	4.0	24.0	28.0	40.0	4.0	0.0	100.0
短期大学	人数(人)	0	1	4	7	10	1	0	23
	率(%)	0.0	4.3	17.4	30.4	43.5	4.3	0.0	100.0
専修学校（専門課程）	人数(人)	17	16	27	55	124	46	11	296
	率(%)	5.7	5.4	9.1	18.6	41.9	15.5	3.7	100.0
日本語教育機関	人数(人)	23	32	52	117	158	60	12	454
	率(%)	5.1	7.0	11.5	25.8	34.8	13.2	2.6	100.0
その他	人数(人)	0	1	7	16	15	5	6	50
	率(%)	0.0	2.0	14.0	32.0	30.0	10.0	12.0	100.0
不明	人数(人)	1	1	1	2	8	0	1	14
	率(%)	7.1	7.1	7.1	14.3	57.1	0.0	7.1	100.0
合計	人数(人)	87	151	258	406	606	211	63	1,782
	率(%)	4.9	8.5	14.5	22.8	34.0	11.8	3.5	100.0
	平成21年率(%)	4.2	9.0	16.4	23.0	31.8	12.2	3.2	100.0
	平成19年率(%)	6.5	9.6	13.4	21.9	36.1	11.3	1.3	100.0

（注）回答者数は、第8-1表でアルバイトをしていると回答し、かつ奨学金を受給していないと回答した数（1,782人）

アルバイトに従事する理由（第8-8表）は、「日本での生活を維持するために必要だから」が3,245人（70.6%）で7割以上となっている。

第8-8表 アルバイトに従事する理由（Q25(3)参照）

区分	日本での生活を維持するために必要だから	日本人との交流など良い機会になるから	教養・娯楽などにあてる費用を得るため	その他	不明	計
人数(人)	3,245	1,092	167	74	16	4,594
率(%)	70.6	23.8	3.6	1.6	0.3	100.0
平成21年(%)	71.1	23.3	3.9	1.2	0.5	100.0
平成19年(%)	71.1	22.5	3.6	1.8	1.0	100.0

（注）回答者数は、第8-1表でアルバイトをしていると回答した数（4,594人）

アルバイトの時給額（第8-9表）は、全体では「800円以上1,000円未満」が2,604人（56.7%）が最も多く、次いで、「1,000円以上1,200円未満」が862人（18.8%）となっており、「800円以上1,200円未満」の時給が約7割となっている。

在籍段階別に見ると、2,000円以上の時給に対する比率が最も高いのは、「大学院博士課程・博士後期課程」（8.9%）であり、次いで、「大学院レベルの研究生」（3.4%）、「大学院修士課程・博士前期課程」（3.1%）となっており、上位の課程になると時給も高くなっている。

第8-9表 アルバイトの時給額（全体と在籍段階別）（Q11・25（4）参照）

区分		800円未満	800円～1,000円未満	1,000円～1,200円未満	1,200円～1,400円未満	1,400円～1,600円未満	1,600円～1,800円未満	1,800円～2,000円未満	2,000円以上	不明	計
大学院博士課程・博士後期課程	人数（人）	19	84	61	32	19	9	10	23	1	258
	率（%）	7.4	32.6	23.6	12.4	7.4	3.5	3.9	8.9	0.4	100.0
大学院修士課程・博士前期課程	人数（人）	103	310	115	13	12	4	8	18	6	589
	率（%）	17.5	52.6	19.5	2.2	2.0	0.7	1.4	3.1	1.0	100.0
専門職大学院課程	人数（人）	6	26	8	0	2	0	0	0	1	43
	率（%）	14.0	60.5	18.6	0.0	4.7	0.0	0.0	0.0	2.3	100.0
大学院レベルの研究生	人数（人）	14	30	10	1	0	0	0	2	2	59
	率（%）	23.7	50.8	16.9	1.7	0.0	0.0	0.0	3.4	3.4	100.0
学部正規課程	人数（人）	331	1,050	327	34	16	1	12	29	8	1,808
	率（%）	18.3	58.1	18.1	1.9	0.9	0.1	0.7	1.6	0.4	100.0
学部レベルの研究生・聴講生	人数（人）	11	41	13	2	0	1	0	0	0	68
	率（%）	16.2	60.3	19.1	2.9	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	100.0
短期大学	人数（人）	21	26	3	2	0	0	0	0	0	52
	率（%）	40.4	50.0	5.8	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
専修学校（専門課程）	人数（人）	110	477	151	12	2	0	1	5	10	768
	率（%）	14.3	62.1	19.7	1.6	0.3	0.0	0.1	0.7	1.3	100.0
日本語教育機関	人数（人）	126	453	138	9	6	4	3	12	10	761
	率（%）	16.6	59.5	18.1	1.2	0.8	0.5	0.4	1.6	1.3	100.0
その他	人数（人）	21	78	28	0	1	0	0	1	12	141
	率（%）	14.9	55.3	19.9	0.0	0.7	0.0	0.0	0.7	8.5	100.0
不明	人数（人）	5	29	8	1	1	0	1	0	2	47
	率（%）	10.6	61.7	17.0	2.1	2.1	0.0	2.1	0.0	4.3	100.0
合計	人数（人）	767	2,604	862	106	59	19	35	90	52	4,594
	率（%）	16.7	56.7	18.8	2.3	1.3	0.4	0.8	2.0	1.1	100.0
	平成21年率（%）	16.8	51.8	23.1	3.4	1.7	0.3	0.7	1.8	0.4	100.0
	平成19年率（%）	13.6	49.0	26.3	4.5	1.6	0.4	1.3	2.4	0.8	100.0

（注）回答者数は、第8-1表でアルバイトをしていると回答した数（4,594人）

9. 授業時間を除く学習・研究時間

在籍段階別学習・研究時間（第 9-1 表）を見ると、「大学院博士課程・博士後期課程」では、「週 35 時間以上」と回答した者が半数以上（257 人、60.6%）であり、「大学院修士課程・博士前期課程」では、「週 14 時間以上 35 時間未満」と回答した者が半数以上（465 人、56.5%）となっている。

「週 28 時間未満」を見ると、「学部正規課程」（2,089 人、90.7%）、「短期大学」（56 人、90.3%）、「日本語教育機関」（1,038 人、92.4%）で、いずれも 9 割以上となっている。特に「週 7 時間以上 21 時間未満」と回答した者が多い。

第 9-1 表 在籍段階別学習・研究時間

(Q11・13 参照)

区分		7 時間 未満	7~14 時間未満	14~21 時間未満	21~28 時間未満	28~35 時間未満	35~42 時間未満	42~49 時間未満	49 時間 以上	不明	計
大学院博士課程 ・博士後期課程	人数 (人)	8	27	32	40	57	104	46	107	3	424
	率 (%)	1.9	6.4	7.5	9.4	13.4	24.5	10.8	25.2	0.7	100.0
大学院修士課程 ・博士前期課程	人数 (人)	44	137	184	160	121	100	36	40	1	823
	率 (%)	5.3	16.6	22.4	19.4	14.7	12.2	4.4	4.9	0.1	100.0
専門職大学院 課程	人数 (人)	9	18	14	10	1	2	2	1	1	58
	率 (%)	15.5	31.0	24.1	17.2	1.7	3.4	3.4	1.7	1.7	100.0
大学院レベルの 研究生	人数 (人)	8	21	20	13	12	4	0	1	0	79
	率 (%)	10.1	26.6	25.3	16.5	15.2	5.1	0.0	1.3	0.0	100.0
学部正規課程	人数 (人)	382	726	623	358	125	56	18	12	4	2,304
	率 (%)	16.6	31.5	27.0	15.5	5.4	2.4	0.8	0.5	0.2	100.0
学部レベルの 研究生・聴講生	人数 (人)	19	27	22	8	3	4	1	3	0	87
	率 (%)	21.8	31.0	25.3	9.2	3.4	4.6	1.1	3.4	0.0	100.0
短期大学	人数 (人)	9	14	23	10	3	3	0	0	0	62
	率 (%)	14.5	22.6	37.1	16.1	4.8	4.8	0.0	0.0	0.0	100.0
専修学校 (専門課程)	人数 (人)	177	287	231	161	68	29	6	5	3	967
	率 (%)	18.3	29.7	23.9	16.6	7.0	3.0	0.6	0.5	0.3	100.0
日本語教育機関	人数 (人)	203	306	376	153	46	22	8	7	2	1,123
	率 (%)	18.1	27.2	33.5	13.6	4.1	2.0	0.7	0.6	0.2	100.0
その他	人数 (人)	36	60	53	25	12	10	0	2	11	209
	率 (%)	17.2	28.7	25.4	12.0	5.7	4.8	0.0	1.0	5.3	100.0
不明	人数 (人)	7	17	10	9	3	2	1	0	8	57
	率 (%)	12.3	29.8	17.5	15.8	5.3	3.5	1.8	0.0	14.0	100.0
合計	人数 (人)	902	1,640	1,588	947	451	336	118	178	33	6,193
	率 (%)	14.6	26.5	25.6	15.3	7.3	5.4	1.9	2.9	0.5	100.0
	平成 21 年率 (%)	12.0	23.6	24.2	15.5	10.9	5.5	2.8	4.5	0.9	100.0
	平成 19 年率 (%)	12.2	23.5	24.0	15.1	11.3	6.0	3.2	4.5	0.3	100.0

奨学金受給者及び非受給者の在籍段階別学習・研究時間（第 9-2 表及び第 9-3 表）を比較すると、全体として奨学金受給者の方が非受給者よりも学習・研究時間が比較的多い。特に「大学院博士課程・博士後期課程」、「大学院修士課程・博士前期課程」、「大学院レベルの研究生」、「学部正規課程」、「学部レベルの研究生・聴講生」、「日本語教育機関」では、「週 14 時間未満」の割合が、受給者から非受給者になると増加し、「週 28 時間以上」の割合が減少している。

第 9-2 表 奨学金受給者の在籍段階別学習・研究時間

(Q11・13・21 参照)

区分		7時間未満	7～14時間未満	14～21時間未満	21～28時間未満	28～35時間未満	35～42時間未満	42～49時間未満	49時間以上	不明	計
大学院博士課程・博士後期課程	人数(人)	1	12	20	23	37	67	29	63	1	253
	率(%)	0.4	4.7	7.9	9.1	14.6	26.5	11.5	24.9	0.4	100.0
大学院修士課程・博士前期課程	人数(人)	15	55	101	88	60	57	22	27	1	426
	率(%)	3.5	12.9	23.7	20.7	14.1	13.4	5.2	6.3	0.2	100.0
専門職大学院課程	人数(人)	2	4	3	3	1	1	0	0	0	14
	率(%)	14.3	28.6	21.4	21.4	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	100.0
大学院レベルの研究生	人数(人)	1	4	4	4	5	1	0	0	0	19
	率(%)	5.3	21.1	21.1	21.1	26.3	5.3	0.0	0.0	0.0	100.0
学部正規課程	人数(人)	154	352	306	184	68	34	10	6	1	1,115
	率(%)	13.8	31.6	27.4	16.5	6.1	3.0	0.9	0.5	0.1	100.0
学部レベルの研究生・聴講生	人数(人)	5	7	4	3	2	2	0	1	0	24
	率(%)	20.8	29.2	16.7	12.5	8.3	8.3	0.0	4.2	0.0	100.0
短期大学	人数(人)	4	6	8	3	1	2	0	0	0	24
	率(%)	16.7	25.0	33.3	12.5	4.2	8.3	0.0	0.0	0.0	100.0
専修学校(専門課程)	人数(人)	45	109	90	54	26	12	3	0	0	339
	率(%)	13.3	32.2	26.5	15.9	7.7	3.5	0.9	0.0	0.0	100.0
日本語教育機関	人数(人)	26	48	77	32	7	5	2	0	0	197
	率(%)	13.2	24.4	39.1	16.2	3.6	2.5	1.0	0.0	0.0	100.0
その他	人数(人)	8	20	19	10	8	5	0	0	2	72
	率(%)	11.1	27.8	26.4	13.9	11.1	6.9	0.0	0.0	2.8	100.0
不明	人数(人)	1	5	1	3	2	1	0	0	1	14
	率(%)	7.1	35.7	7.1	21.4	14.3	7.1	0.0	0.0	7.1	100.0
合計	人数(人)	262	622	633	407	217	187	66	97	6	2,497
	率(%)	10.5	24.9	25.4	16.3	8.7	7.5	2.6	3.9	0.2	100.0
	平成21年率(%)	9.0	22.0	25.1	15.9	11.8	6.2	3.5	5.7	0.7	100.0
	平成19年率(%)	9.4	22.5	25.6	14.4	11.6	6.4	4.1	6.0	0.0	100.0

(注) 回答者数は、第5-3表の奨学金受給者数(2,497人)

第 9-3 表 奨学金非受給者の在籍段階別学習・研究時間

(Q11・13・21 参照)

区分		7時間未満	7～14時間未満	14～21時間未満	21～28時間未満	28～35時間未満	35～42時間未満	42～49時間未満	49時間以上	不明	計
大学院博士課程・博士後期課程	人数(人)	4	7	8	8	15	25	11	29	2	109
	率(%)	3.7	6.4	7.3	7.3	13.8	22.9	10.1	26.6	1.8	100.0
大学院修士課程・博士前期課程	人数(人)	19	63	54	54	45	29	9	7	0	280
	率(%)	6.8	22.5	19.3	19.3	16.1	10.4	3.2	2.5	0.0	100.0
専門職大学院課程	人数(人)	2	6	1	5	0	1	2	0	0	17
	率(%)	11.8	35.3	5.9	29.4	0.0	5.9	11.8	0.0	0.0	100.0
大学院レベルの研究生	人数(人)	2	10	12	7	4	1	0	1	0	37
	率(%)	5.4	27.0	32.4	18.9	10.8	2.7	0.0	2.7	0.0	100.0
学部正規課程	人数(人)	126	237	210	105	34	11	6	2	1	732
	率(%)	17.2	32.4	28.7	14.3	4.6	1.5	0.8	0.3	0.1	100.0
学部レベルの研究生・聴講生	人数(人)	6	15	10	2	0	1	1	1	0	36
	率(%)	16.7	41.7	27.8	5.6	0.0	2.8	2.8	2.8	0.0	100.0
短期大学	人数(人)	4	6	10	5	0	1	0	0	0	26
	率(%)	15.4	23.1	38.5	19.2	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	100.0
専修学校(専門課程)	人数(人)	75	108	90	63	30	11	2	2	1	382
	率(%)	19.6	28.3	23.6	16.5	7.9	2.9	0.5	0.5	0.3	100.0
日本語教育機関	人数(人)	132	178	212	81	22	12	5	4	0	646
	率(%)	20.4	27.6	32.8	12.5	3.4	1.9	0.8	0.6	0.0	100.0
その他	人数(人)	16	23	23	6	0	4	0	0	4	76
	率(%)	21.1	30.3	30.3	7.9	0.0	5.3	0.0	0.0	5.3	100.0
不明	人数(人)	1	5	4	3	1	0	0	0	2	16
	率(%)	6.3	31.3	25.0	18.8	6.3	0.0	0.0	0.0	12.5	100.0

合計	人数(人)	387	658	634	339	151	96	36	46	10	2,357
	率(%)	16.4	27.9	26.9	14.4	6.4	4.1	1.5	2.0	0.4	100.0
	平成21年率(%)	15.0	26.4	23.5	14.9	9.9	4.6	1.8	3.2	0.7	100.0
	平成19年率(%)	13.8	24.1	22.9	16.4	11.0	5.6	2.4	3.5	0.4	100.0

(注) 回答者数は、第6-3表の奨学金非受給者数(2,357人)

専攻別の学習・研究時間（第9-4表）を見ると、「人文科学」、「社会科学」、「家政」、「教育」、「日本語」は、いずれも「週21時間未満」（1日当たり平均3時間）が6割以上となっている。

一方、「農学」、「医・歯学」、「薬学」は、「週28時間以上」（1日当たり平均4時間以上）が、それぞれ60人（52.6%）、48人（71.6%）、10人（62.5%）となっている。

「理学」、「工学」、「日本語」では、「週14時間以上21時間未満」が最も多く、それぞれ33人（20.6%）、128人（20.4%）、495人（31.3%）となっているが、その他の時間にも広く散らばっている。

第9-4表 専攻別の学習・研究時間

（Q12・13参照）

区分		7時間未満	7～14時間未満	14～21時間未満	21～28時間未満	28～35時間未満	35～42時間未満	42～49時間未満	49時間以上	不明	計
人文科学	人数(人)	87	156	123	99	38	27	10	15	0	555
	率(%)	15.7	28.1	22.2	17.8	6.8	4.9	1.8	2.7	0.0	100.0
社会科学	人数(人)	281	539	506	294	137	96	26	28	5	1,912
	率(%)	14.7	28.2	26.5	15.4	7.2	5.0	1.4	1.5	0.3	100.0
理学	人数(人)	12	32	33	21	16	22	10	13	1	160
	率(%)	7.5	20.0	20.6	13.1	10.0	13.8	6.3	8.1	0.6	100.0
工学	人数(人)	44	121	128	105	71	70	28	59	2	628
	率(%)	7.0	19.3	20.4	16.7	11.3	11.1	4.5	9.4	0.3	100.0
農学	人数(人)	7	11	20	16	19	17	11	13	0	114
	率(%)	6.1	9.6	17.5	14.0	16.7	14.9	9.6	11.4	0.0	100.0
医・歯学	人数(人)	3	2	13	1	9	19	6	14	0	67
	率(%)	4.5	3.0	19.4	1.5	13.4	28.4	9.0	20.9	0.0	100.0
薬学	人数(人)	2	2	2	0	2	2	1	5	0	16
	率(%)	12.5	12.5	12.5	0.0	12.5	12.5	6.3	31.3	0.0	100.0
家政	人数(人)	25	20	19	19	4	2	1	2	1	93
	率(%)	26.9	21.5	20.4	20.4	4.3	2.2	1.1	2.2	1.1	100.0
教育	人数(人)	15	47	37	35	16	11	2	2	0	165
	率(%)	9.1	28.5	22.4	21.2	9.7	6.7	1.2	1.2	0.0	100.0
日本語	人数(人)	282	453	495	220	76	32	7	12	2	1,579
	率(%)	17.9	28.7	31.3	13.9	4.8	2.0	0.4	0.8	0.1	100.0
その他	人数(人)	138	243	203	134	61	37	15	14	12	857
	率(%)	16.1	28.4	23.7	15.6	7.1	4.3	1.8	1.6	1.4	100.0
不明	人数(人)	6	14	9	3	2	1	1	1	10	47
	率(%)	12.8	29.8	19.1	6.4	4.3	2.1	2.1	2.1	21.3	100.0
合計	人数(人)	902	1,640	1,588	947	451	336	118	178	33	6,193
	率(%)	14.6	26.5	25.6	15.3	7.3	5.4	1.9	2.9	0.5	100.0
	平成21年率(%)	12.0	23.6	24.2	15.5	10.9	5.5	2.8	4.5	0.9	100.0
	平成19年率(%)	12.2	23.5	24.0	15.1	11.3	6.0	3.2	4.5	0.3	100.0

専攻別の奨学金受給者及び非受給者の学習・研究時間（第9-5表及び第9-6表）を比較すると、全体として奨学金受給者の方が非受給者よりも学習・研究時間が比較的多い。特に「人文科学」、「社会科学」、「理学」、「工学」、「日本語」では、受給者から非受給者になると「週14時間未満」の割合が増加し、「週28時間以上」の割合が減少している。

第 9-5 表 専攻別の奨学金受給者の学習・研究時間

(Q12・13・21 参照)

区分		7時間未満	7～14時間未満	14～21時間未満	21～28時間未満	28～35時間未満	35～42時間未満	42～49時間未満	49時間以上	不明	計
人文科学	人数(人)	24	67	55	48	19	16	6	9	0	244
	率(%)	9.8	27.5	22.5	19.7	7.8	6.6	2.5	3.7	0.0	100.0
社会科学	人数(人)	110	249	253	143	88	59	13	12	1	928
	率(%)	11.9	26.8	27.3	15.4	9.5	6.4	1.4	1.3	0.1	100.0
理学	人数(人)	1	12	13	6	7	11	7	12	1	70
	率(%)	1.4	17.1	18.6	8.6	10.0	15.7	10.0	17.1	1.4	100.0
工学	人数(人)	11	58	53	53	35	45	18	38	1	312
	率(%)	3.5	18.6	17.0	17.0	11.2	14.4	5.8	12.2	0.3	100.0
農学	人数(人)	6	5	12	8	9	8	5	8	0	61
	率(%)	9.8	8.2	19.7	13.1	14.8	13.1	8.2	13.1	0.0	100.0
医・歯学	人数(人)	0	0	3	1	7	13	3	8	0	35
	率(%)	0.0	0.0	8.6	2.9	20.0	37.1	8.6	22.9	0.0	100.0
薬学	人数(人)	2	0	1	0	1	1	0	2	0	7
	率(%)	28.6	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0	28.6	0.0	100.0
家政	人数(人)	11	7	11	6	3	0	0	1	0	39
	率(%)	28.2	17.9	28.2	15.4	7.7	0.0	0.0	2.6	0.0	100.0
教育	人数(人)	7	23	14	18	8	6	1	1	0	78
	率(%)	9.0	29.5	17.9	23.1	10.3	7.7	1.3	1.3	0.0	100.0
日本語	人数(人)	44	104	122	60	20	8	2	1	0	361
	率(%)	12.2	28.8	33.8	16.6	5.5	2.2	0.6	0.3	0.0	100.0
その他	人数(人)	45	93	93	64	20	19	11	5	3	353
	率(%)	12.7	26.3	26.3	18.1	5.7	5.4	3.1	1.4	0.8	100.0
不明	人数(人)	1	4	3	0	0	1	0	0	0	9
	率(%)	11.1	44.4	33.3	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	100.0
合計	人数(人)	262	622	633	407	217	187	66	97	6	2,497
	率(%)	10.5	24.9	25.4	16.3	8.7	7.5	2.6	3.9	0.2	100.0
	平成21年率(%)	9.0	22.0	25.1	15.9	11.8	6.2	3.5	5.7	0.7	100.0
	平成19年率(%)	9.4	22.5	25.6	14.4	11.6	6.4	4.1	6.0	0.0	100.0

(注) 回答者数は、第5-3表の奨学金受給者数(2,497人)

第 9-6 表 専攻別の奨学金非受給者の学習・研究時間

(Q12・13・21 参照)

区分		7時間未満	7～14時間未満	14～21時間未満	21～28時間未満	28～35時間未満	35～42時間未満	42～49時間未満	49時間以上	不明	計
人文科学	人数(人)	34	54	35	28	11	8	2	4	0	176
	率(%)	19.3	30.7	19.9	15.9	6.3	4.5	1.1	2.3	0.0	100.0
社会科学	人数(人)	94	183	162	100	32	16	10	8	1	606
	率(%)	15.5	30.2	26.7	16.5	5.3	2.6	1.7	1.3	0.2	100.0
理学	人数(人)	3	15	11	8	3	8	2	0	0	50
	率(%)	6.0	30.0	22.0	16.0	6.0	16.0	4.0	0.0	0.0	100.0
工学	人数(人)	16	49	58	29	29	20	7	13	1	222
	率(%)	7.2	22.1	26.1	13.1	13.1	9.0	3.2	5.9	0.5	100.0
農学	人数(人)	1	3	3	4	9	7	5	4	0	36
	率(%)	2.8	8.3	8.3	11.1	25.0	19.4	13.9	11.1	0.0	100.0
医・歯学	人数(人)	1	2	7	0	2	2	2	4	0	20
	率(%)	5.0	10.0	35.0	0.0	10.0	10.0	10.0	20.0	0.0	100.0
薬学	人数(人)	0	1	1	0	1	1	0	2	0	6
	率(%)	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	33.3	0.0	100.0
家政	人数(人)	10	7	4	11	1	1	0	0	0	34
	率(%)	29.4	20.6	11.8	32.4	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0	100.0
教育	人数(人)	5	16	14	11	5	1	0	1	0	53
	率(%)	9.4	30.2	26.4	20.8	9.4	1.9	0.0	1.9	0.0	100.0
日本語	人数(人)	170	234	261	103	35	19	4	4	1	831
	率(%)	20.5	28.2	31.4	12.4	4.2	2.3	0.5	0.5	0.1	100.0

その他	人数(人)	51	88	74	43	22	13	4	5	3	303
	率(%)	16.8	29.0	24.4	14.2	7.3	4.3	1.3	1.7	1.0	100.0
不明	人数(人)	2	6	4	2	1	0	0	1	4	20
	率(%)	10.0	30.0	20.0	10.0	5.0	0.0	0.0	5.0	20.0	100.0
合計	人数(人)	387	658	634	339	151	96	36	46	10	2,357
	率(%)	16.4	27.9	26.9	14.4	6.4	4.1	1.5	2.0	0.4	100.0
	平成21年率(%)	15.0	26.4	23.5	14.9	9.9	4.6	1.8	3.2	0.7	100.0
	平成19年率(%)	13.8	24.1	22.9	16.4	11.0	5.6	2.4	3.5	0.4	100.0

(注) 回答者数は、第6-3表の奨学金非受給者数(2,357人)

奨学金の受給金額と学習・研究時間(第9-7表)を見ると、奨学金の非受給者においては、「週21時間未満」が約7割であり、中でも、「週7時間以上14時間未満」の658人(27.9%)が最も多い。

奨学金7万円未満の受給者では、学習・研究時間は、「週7時間以上21時間未満」が最も多く、「5万円未満」受給者では58.3%(955人)、「5万円以上7万円未満」受給者では37.7%(178人)となっている。

第9-7表 奨学金の受給金額と学習・研究時間

(Q13・21参照)

区分		7時間未満	7~14時間未満	14~21時間未満	21~28時間未満	28~35時間未満	35~42時間未満	42~49時間未満	49時間以上	不明	計	
奨学金なし	人数(人)	387	658	634	339	151	96	36	46	10	2,357	
	率(%)	16.4	27.9	26.9	14.4	6.4	4.1	1.5	2.0	0.4	100.0	
奨学金あり	5万円未満	人数(人)	211	494	461	267	110	65	19	8	3	1,638
		率(%)	12.9	30.2	28.1	16.3	6.7	4.0	1.2	0.5	0.2	100.0
	5万円以上	人数(人)	26	71	107	69	60	62	27	48	2	472
		率(%)	5.5	15.0	22.7	14.6	12.7	13.1	5.7	10.2	0.4	100.0
	7万円未満	人数(人)	8	15	16	14	14	12	3	8	0	90
		率(%)	8.9	16.7	17.8	15.6	15.6	13.3	3.3	8.9	0.0	100.0
	9万円以上	人数(人)	8	27	25	22	20	10	5	9	0	126
		率(%)	6.3	21.4	19.8	17.5	15.9	7.9	4.0	7.1	0.0	100.0
11万円未満	人数(人)	9	15	24	35	13	38	12	24	1	171	
	率(%)	5.3	8.8	14.0	20.5	7.6	22.2	7.0	14.0	0.6	100.0	

(注) 回答者数は、第5-3表の奨学金受給者数(2,497人)及び第6-3表の奨学金非受給者数(2,357人)

10. 宿舍

宿舍の形態（第 10-1 表）は、「民間アパート・マンション等」に居住する者が、4,614 人（74.5%）と最も多い。

第 10-1 表 宿舍の形態

（Q10・11・27(1)参照）

区分		民間アパート・マンション等	大学・学校の留学生用宿舎	大学・学校の一般学生寮	県・市・財団法人の留学生宿舎	公営住宅等の一般公的宿舎	企業の社員寮	ホームステイ	その他	不明	計	
大学	国立	人数（人）	608	190	93	27	51	17	2	14	7	1,009
		率（%）	60.3	18.8	9.2	2.7	5.1	1.7	0.2	1.4	0.7	100.0
	公立	人数（人）	72	23	5	2	4	0	1	0	2	109
		率（%）	66.1	21.1	4.6	1.8	3.7	0.0	0.9	0.0	1.8	100.0
	私立	人数（人）	2,180	169	107	43	55	24	23	59	25	2,685
		率（%）	81.2	6.3	4.0	1.6	2.0	0.9	0.9	2.2	0.9	100.0
	大学計	人数（人）	2,860	382	205	72	110	41	26	73	34	3,803
		率（%）	75.2	10.0	5.4	1.9	2.9	1.1	0.7	1.9	0.9	100.0
	短期大学	人数（人）	39	9	5	0	1	1	1	0	4	60
		率（%）	65.0	15.0	8.3	0.0	1.7	1.7	1.7	0.0	6.7	100.0
専修学校（専門課程）	人数（人）	856	83	71	17	26	10	19	27	6	1,115	
	率（%）	76.8	7.4	6.4	1.5	2.3	0.9	1.7	2.4	0.5	100.0	
日本語教育機関	人数（人）	859	113	110	12	26	17	23	40	15	1,215	
	率（%）	70.7	9.3	9.1	1.0	2.1	1.4	1.9	3.3	1.2	100.0	
合計	人数（人）	4,614	587	391	101	163	69	69	140	59	6,193	
	率（%）	74.5	9.5	6.3	1.6	2.6	1.1	1.1	2.3	1.0	100.0	
	平成 21 年率（%）	76.4	6.7	6.9	2.5	2.9	0.8	1.1	1.9	0.8	100.0	
	平成 19 年率（%）	75.0	6.5	8.0	2.4	3.4	1.1	0.9	2.0	0.7	100.0	

在籍学校別の宿舍形態の率（第 10-2 表）を見ると、「大学・学校の留学生用宿舍」の割合が伸びている。

第 10-2 表 在籍学校別の宿舍形態の率（年度別比較表）（Q10・11・27(1)参照）（単位%）

区分		民間アパート・マンション等	大学・学校の留学生用宿舍	大学・学校の一般学生寮	県・市・財団法人の留学生宿舍	公営住宅等の一般公的宿舍	企業の社員寮	ホームステイ	その他	不明	計	
大学	国立	平成 23 年	60.3	18.8	9.2	2.7	5.1	1.7	0.2	1.4	0.7	100.0
		平成 21 年	59.4	12.7	13.1	5.8	4.9	1.2	0.8	1.5	0.5	100.0
		平成 19 年	57.0	12.3	16.0	5.1	6.0	1.4	0.4	1.3	0.4	100.0
	公立	平成 23 年	66.1	21.1	4.6	1.8	3.7	0.0	0.9	0.0	1.8	100.0
		平成 21 年	66.0	15.6	7.8	4.3	5.7	0.0	0.0	0.7	0.0	100.0
		平成 19 年	63.9	8.4	5.9	9.2	7.6	1.7	0.0	3.4	0.0	100.0
	私立	平成 23 年	81.2	6.3	4.0	1.6	2.0	0.9	0.9	2.2	0.9	100.0
		平成 21 年	81.4	5.0	5.1	1.5	2.6	0.7	1.0	1.8	0.8	100.0
		平成 19 年	79.2	6.1	6.1	1.9	2.9	1.1	0.9	1.7	0.3	100.0
	大学計	平成 23 年	75.2	10.0	5.4	1.9	2.9	1.1	0.7	1.9	0.9	100.0
		平成 21 年	75.1	7.4	7.3	2.8	3.3	0.8	0.9	1.7	0.7	100.0
		平成 19 年	73.2	7.7	8.5	2.9	3.8	1.2	0.7	1.7	0.3	100.0
短期大学	平成 23 年	65.0	15.0	8.3	0.0	1.7	1.7	1.7	0.0	6.7	100.0	
	平成 21 年	66.0	15.0	15.0	1.0	0.0	0.0	2.0	1.0	0.0	100.0	
	平成 19 年	78.3	5.4	12.0	0.0	1.1	0.0	1.1	2.2	0.0	100.0	
専修学校 (専門課程)	平成 23 年	76.8	7.4	6.4	1.5	2.3	0.9	1.7	2.4	0.5	100.0	
	平成 21 年	80.5	4.4	5.1	1.8	2.1	0.9	1.4	2.6	1.2	100.0	
	平成 19 年	81.7	2.1	5.8	0.9	2.0	0.8	1.4	3.2	2.0	100.0	
日本語 教育機関	平成 23 年	70.7	9.3	9.1	1.0	2.1	1.4	1.9	3.3	1.2	100.0	
	平成 21 年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	平成 19 年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計	平成 23 年	74.5	9.5	6.3	1.6	2.6	1.1	1.1	2.3	1.0	100.0	
	平成 21 年	76.4	6.7	6.9	2.5	2.9	0.8	1.1	1.9	0.8	100.0	
	平成 19 年	75.0	6.5	8.0	2.4	3.4	1.1	0.9	2.0	0.7	100.0	

一人当たりの専有面積（第 10-3 表）は、「7.5 m²以上 10 m²（約 5～6 畳）未満」が 1,715 人（27.7%）と最も多く、「15 m²（約 9 畳）未満」が全体の約 8 割（78.4%）となっている。

第 10-3 表 一人当たりの専有面積 (Q27(2) 参照)

区分	5 m ² 未満	5～7.5 m ² 未満	7.5～10 m ² 未満	10～12.5 m ² 未満	12.5～15 m ² 未満	15～17.5 m ² 未満	17.5～20 m ² 未満	20～25 m ² 未満	25 m ² 以上	不明	計
人数 (人)	569	1,189	1,715	799	582	336	404	265	212	122	6,193
率 (%)	9.2	19.2	27.7	12.9	9.4	5.4	6.5	4.3	3.4	2.0	100.0
平成 21 年率 (%)	9.6	19.5	30.9	12.9	9.5	5.1	4.8	3.6	2.4	1.6	100.0
平成 19 年率 (%)	9.1	20.8	34.5	12.3	8.3	4.7	3.8	2.8	2.0	1.9	100.0

部屋の設備（第 10-4 表）として、「キッチン」、「バス・シャワー」、「トイレ」の有無を見ると、約 7 割以上の者が個別のキッチン（74.6%）、バス・シャワー（74.8%）、トイレ（77.1%）付きの部屋に居住している。また、「部屋にはないが共同」はそれぞれ約 2 割となっている。

第 10-4 表 部屋の設備 (Q27(3) 参照)

区分	部屋にある	部屋にはないが共同	なし	不明	
キッチン	人数 (人)	4,618	1,464	86	25
	率 (%)	74.6	23.6	1.4	0.4
	平成 21 年率 (%)	77.9	19.6	1.8	0.7
	平成 19 年率 (%)	79.7	17.0	1.9	1.4
バス・シャワー	人数 (人)	4,634	1,469	59	31
	率 (%)	74.8	23.7	1.0	0.5
	平成 21 年率 (%)	77.9	19.9	1.4	0.8
	平成 19 年率 (%)	77.6	18.9	2.0	1.5
トイレ	人数 (人)	4,772	1,390	—	31
	率 (%)	77.1	22.4	—	0.5
	平成 21 年率 (%)	80.8	18.5	—	0.8
	平成 19 年率 (%)	81.5	16.8	—	1.7

(注) トイレの設間には「なし」の選択肢はない

同居人の有無（第 10-5 表）については、「日本で単身で住んでいる」と回答した者は、3,090 人（49.9%）で、全体の約半数となっている。

第 10-5 表 同居人の有無 (Q28 参照)

区分	単身	同居	不明	計
人数 (人)	3,090	3,091	12	6,193
率 (%)	49.9	49.9	0.2	100.0
平成 21 年率 (%)	52.3	47.3	0.4	100.0
平成 19 年率 (%)	50.1	49.1	0.8	100.0

「同居人がいる」と回答した者のうち、同居人の数（第 10-6 表）が「1 人」と回答した者が 1,467 人（47.5%）で最も多く、次いで、「2 人」と回答した者が 928 人（30.0%）となっている。

第 10-6 表 同居人の数 (Q29(1) 参照)

区分	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人以上	不明	計
人数 (人)	1,467	928	380	142	133	41	3,091
率 (%)	47.5	30.0	12.3	4.6	4.3	1.3	100.0
平成 21 年率 (%)	49.9	30.5	10.6	4.5	2.9	1.7	100.0
平成 19 年率 (%)	48.2	34.5	10.3	3.8	2.5	0.7	100.0

(注) 回答者数は、第 10-5 表で同居人ありと回答した数（3,091 人）

同居人の種類（第 10-7 表）を見ると、「外国人留学生」と回答した者が約 6 割の 1,776 人（57.5%）で最も多く、次いで、「配偶者又は家族」の 830 人（26.9%）となっている。

第 10-7 表 同居人の種類

（Q29(2) 参照）

区分	配偶者又は家族	外国人留学生	日本人学生	その他	不明	計
人数（人）	830	1,776	77	321	87	3,091
率（%）	26.9	57.5	2.5	10.4	2.8	100.0
平成 21 年率（%）	30.1	55.2	2.5	9.6	2.6	100.0
平成 19 年率（%）	33.3	51.9	2.3	9.3	3.2	100.0

（注）回答者数は、第 10-5 表で同居人ありと回答した数（3,091 人）

宿舎の形態による単身・同居の状況（第 10-8 表）を見ると、「単身居住者」、「同居者のいる者」のどちらも「民間のアパート・マンション等」に 7 割以上が居住している。

また、「大学・学校の留学生用宿舎」、「大学・学校の一般学生寮」、「県・市・財団法人の留学生宿舎」「企業の社員寮」では、「単身居住者」の割合が大きい。

第 10-8 表 宿舎の形態による単身・同居の状況

（Q27(1)・28 参照）

区分		民間アパート・マンション等	大学・学校の留学生用宿舎	大学・学校の一般学生寮	県・市・財団法人の留学生宿舎	公営住宅等の一般公的宿舎	企業の社員寮	ホームステイ	その他	不明	計
単身	人数（人）	2,286	337	228	74	38	50	10	40	27	3,090
	率（%）	74.0	10.9	7.4	2.4	1.2	1.6	0.3	1.3	0.9	100.0
同居	人数（人）	2,324	250	162	27	125	19	59	100	25	3,091
	率（%）	75.2	8.1	5.2	0.9	4.0	0.6	1.9	3.2	0.8	100.0
不明	人数（人）	4	0	1	0	0	0	0	0	7	12
	率（%）	33.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	58.3	100.0
合計	人数（人）	4,614	587	391	101	163	69	69	140	59	6,193
	率（%）	74.5	9.5	6.3	1.6	2.6	1.1	1.1	2.3	1.0	100.0
	平成 21 年率（%）	76.4	6.7	6.9	2.5	2.9	0.8	1.1	1.9	0.8	100.0
	平成 19 年率（%）	75.0	6.5	8.0	2.4	3.4	1.1	0.9	2.0	0.7	100.0

居住地域別の住居費（第 10-9-1 表）を見ると、関東地方が平均月額 40,000 円と全国で最も高くなっている。一方、平均月額が低いのは東北地方及び四国地方で 23,000 円となっている。なお、東京のみでは、43,000 円となっている。

第 10-9-1 表 居住地域別の住居費（年度別比較表）

（Q23・26 参照）

区分		北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
平均月額 （千円）	平成 23 年	26	23	40	27	33	24	23	26	43	34
	平成 21 年	25	24	41	29	33	25	24	25	44	34
	平成 19 年	28	23	39	29	33	24	21	25	42	34

（注）平均月額は、Q21 及び Q23 で収入・支出の同額者（4,854 人）の各項目の平均

「宿舍の形態別の住居費（第 10-9-2 表）を見ると、「民間アパート・マンション等」は「2 万円以上 4 万円未満」が約半数（56.0%）であり、「大学・学校の留学生用宿舍」は、「1 万円以上 3 万円未満」が約半数（51.5%）となっている。全体では「2 万円以上 5 万円未満」が約 7 割（68.0%）となっている。

第 10-9-2 表 宿舍の形態別の住居費

（Q23・27(1) 参照）

区分		1万円未満	1～2万円未満	2～3万円未満	3～4万円未満	4～5万円未満	5～6万円未満	6～7万円未満	7万円以上	不明	計
民間アパート・マンション等	人数(人)	8	200	857	1,190	656	359	148	124	113	3,655
	率(%)	0.2	5.5	23.4	32.6	17.9	9.8	4.0	3.4	3.1	100.0
大学・学校の留学生用宿舍	人数(人)	65	133	96	75	30	16	9	6	15	445
	率(%)	14.6	29.9	21.6	16.9	6.7	3.6	2.0	1.3	3.4	100.0
大学・学校の一般学生寮	人数(人)	33	82	65	59	23	16	8	1	22	309
	率(%)	10.7	26.5	21.0	19.1	7.4	5.2	2.6	0.3	7.1	100.0
県・市・財団法人の留学生宿舍	人数(人)	4	3	29	20	8	7	3	1	3	78
	率(%)	5.1	3.8	37.2	25.6	10.3	9.0	3.8	1.3	3.8	100.0
公営住宅等の一般公的宿舍	人数(人)	7	22	44	23	17	5	4	1	7	130
	率(%)	5.4	16.9	33.8	17.7	13.1	3.8	3.1	0.8	5.4	100.0
企業の社員寮	人数(人)	3	21	6	4	6	4	1	0	10	55
	率(%)	5.5	38.2	10.9	7.3	10.9	7.3	1.8	0.0	18.2	100.0
ホームステイ	人数(人)	0	5	7	8	4	2	3	0	18	47
	率(%)	0.0	10.6	14.9	17.0	8.5	4.3	6.4	0.0	38.3	100.0
その他	人数(人)	0	4	14	20	14	13	4	3	28	100
	率(%)	0.0	4.0	14.0	20.0	14.0	13.0	4.0	3.0	28.0	100.0
不明	人数(人)	3	3	7	14	4	2	0	0	2	35
	率(%)	8.6	8.6	20.0	40.0	11.4	5.7	0.0	0.0	5.7	100.0
合計	人数(人)	123	473	1,125	1,413	762	424	180	136	218	4,854
	率(%)	2.5	9.7	23.2	29.1	15.7	8.7	3.7	2.8	4.5	100.0
	平成21年率(%)	3.4	8.6	21.0	30.9	16.5	8.0	3.5	3.7	4.5	100.0
	平成19年率(%)	4.5	9.1	18.2	26.7	17.0	10.1	4.2	3.3	7.0	100.0

（注）回答者数は、Q21 及び Q23 で収入・支出の同額者（4,854 人）

「宿舍入居にかかる敷金・礼金、保証金等の金額（第 10-10 表）は「5 万円未満」と回答した者が 1,851 人（29.9%）と最も多く、次いで、「なし」と回答した者が 1,562 人（25.2%）、「5 万円以上 10 万円未満」が 1,403 人（22.7%）となっている。

第 10-10 表 宿舍入居にかかる敷金・礼金、保証金等の金額

（Q30 参照）

区分	なし	5万円未満	5～10万円未満	10～20万円未満	20～30万円未満	30～40万円未満	40～50万円未満	50万円以上	不明	計
人数(人)	1,562	1,851	1,403	871	245	61	12	7	181	6,193
率(%)	25.2	29.9	22.7	14.1	4.0	1.0	0.2	0.1	2.9	100.0
平成21年率(%)	23.2	23.6	21.3	19.0	7.4	2.1	0.6	0.2	2.7	100.0
平成19年率(%)	22.8	21.3	19.8	20.6	9.4	2.9	0.7	0.5	1.9	100.0

宿舎の形態別の敷金・礼金、保証金等（第 10-11 表）を見ると、「大学・学校の留学生用宿舎」、「県・市・財団法人の留学生宿舎」、「企業の社員寮」は 8 割以上が敷金・礼金、保証金等が「なし」か、「5 万円未満」となっている。一方で、「民間アパート・マンション等」に居住する者は約半数が「10 万円未満」となっている。

第 10-11 表 宿舎の形態別の敷金・礼金、保証金等

(Q27(1)・30 参照)

区分		なし	5万円未満	5～10万円未満	10～20万円未満	20～30万円未満	30～40万円未満	40～50万円未満	50万円以上	不明	計
民間アパート・マンション等	人数(人)	914	1,311	1,182	810	224	54	11	7	101	4,614
	率(%)	19.8	28.4	25.6	17.6	4.9	1.2	0.2	0.2	2.2	100.0
大学・学校の留学生用宿舎	人数(人)	269	203	69	17	7	2	0	0	20	587
	率(%)	45.8	34.6	11.8	2.9	1.2	0.3	0.0	0.0	3.4	100.0
大学・学校の一般学生寮	人数(人)	149	153	53	13	1	2	1	0	19	391
	率(%)	38.1	39.1	13.6	3.3	0.3	0.5	0.3	0.0	4.9	100.0
県・市・財団法人の留学生宿舎	人数(人)	35	50	14	1	1	0	0	0	0	101
	率(%)	34.7	49.5	13.9	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
公営住宅等の一般公的宿舎	人数(人)	41	53	46	15	6	1	0	0	1	163
	率(%)	25.2	32.5	28.2	9.2	3.7	0.6	0.0	0.0	0.6	100.0
企業の社員寮	人数(人)	44	18	3	1	0	0	0	0	3	69
	率(%)	63.8	26.1	4.3	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	100.0
ホームステイ	人数(人)	40	13	8	4	1	1	0	0	2	69
	率(%)	58.0	18.8	11.6	5.8	1.4	1.4	0.0	0.0	2.9	100.0
その他	人数(人)	61	32	18	6	3	1	0	0	19	140
	率(%)	43.6	22.9	12.9	4.3	2.1	0.7	0.0	0.0	13.6	100.0
不明	人数(人)	9	18	10	4	2	0	0	0	16	59
	率(%)	15.3	30.5	16.9	6.8	3.4	0.0	0.0	0.0	27.1	100.0
合計	人数(人)	1,562	1,851	1,403	871	245	61	12	7	181	6,193
	率(%)	25.2	29.9	22.7	14.1	4.0	1.0	0.2	0.1	2.9	100.0
	平成 21 年 (%)	23.2	23.6	21.3	19.0	7.4	2.1	0.6	0.2	2.7	100.0
	平成 19 年 (%)	22.8	21.3	19.8	20.6	9.4	2.9	0.7	0.5	1.9	100.0

宿舎に入居の際の保証人の要否（第 10-12 表）について、「保証人を求められた」と回答した者は、3,471 人で全体の半数以上（56.0%）となっている。

第 10-12 表 宿舎に入居の際の保証人の要否

(Q31 参照)

区分	求められた	求められていない	不明	計
人数(人)	3,471	2,666	56	6,193
率(%)	56.0	43.0	0.9	100.0
平成 21 年率(%)	63.7	35.1	1.2	100.0
平成 19 年率(%)	70.0	28.4	1.5	100.0

宿舎の形態別の保証人の要否（第 10-13 表）を見ると、「民間のアパート・マンション等」に居住する学生のうち、約 6 割が「保証人を求められた」（2,910 人、63.1%）と回答している。

一方、「大学・学校の留学生用宿舎」、「大学・学校の一般学生寮」、「ホームステイ」の学生では、「保証人を求められた」と回答したのはそれぞれ 4 割以下である。

第 10-13 表 宿舎の形態別の保証人の要否

（Q27(1)・31 参照）

区分		民間アパート・マンション等	大学・学校の留学生用宿舎	大学・学校の一般学生寮	県・市・財団法人の留学生宿舎	公営住宅等の一般公的宿舎	企業の社員寮	ホームステイ	その他	不明	計
保証人必要	人数（人）	2,910	184	121	43	103	28	21	33	28	3,471
	率（%）	63.1	31.3	30.9	42.6	63.2	40.6	30.4	23.6	47.5	56.0
	平成 21 年率（%）	71.7	27.6	32.0	44.6	65.1	60.8	35.9	34.5	42.0	63.7
	平成 19 年率（%）	79.6	30.9	38.4	51.1	69.6	58.1	34.0	31.3	15.8	70.0
保証人不要	人数（人）	1,680	397	262	57	58	40	47	102	23	2,666
	率（%）	36.4	67.6	67.0	56.4	35.6	58.0	68.1	72.9	39.0	43.0
	平成 21 年率（%）	27.5	70.6	66.0	54.7	34.3	39.2	62.5	59.5	36.0	35.1
	平成 19 年率（%）	19.7	67.2	58.5	48.2	29.4	41.9	62.0	67.0	10.5	28.4
不明	人数（人）	24	6	8	1	2	1	1	5	8	56
	率（%）	0.5	1.0	2.0	1.0	1.2	1.4	1.4	3.6	13.6	0.9
	平成 21 年率（%）	0.8	1.7	1.9	0.7	0.6	0.0	1.6	6.0	22.0	1.2
	平成 19 年率（%）	0.7	1.9	3.0	0.7	1.0	0.0	4.0	1.7	73.7	1.5
合計	人数（人）	4,614	587	391	101	163	69	69	140	59	6,193
	率（%）	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

宿舎の保証人の種類（第 10-14 表）は、「大学・学校（代表者）」と回答した者が 1,000 人（28.8%）と最も多く、次いで、「日本人の知人」が 784 人（22.6%）、「親族」が 466 人（13.4%）、「保証人制度を利用する」が 464 人（13.4%）となっている。

第 10-14 表 宿舎の保証人の種類

（Q32 参照）

区分	大学・学校（代表者）	大学・学校の指導教員	国際交流団体（代表者）	過去に在籍していた日本語教育機関（代表者・教員）	日本人の知人	日本人以外の知人	親族	保証人制度を利用する	その他	不明	計
人数（人）	1,000	258	59	71	784	216	466	464	127	26	3,471
率（%）	28.8	7.4	1.7	2.0	22.6	6.2	13.4	13.4	3.7	0.7	100.0
平成 21 年率（%）	25.0	8.8	1.7	3.2	27.2	6.3	12.4	12.1	2.5	0.7	100.0
平成 19 年率（%）	23.3	9.7	2.0	—	34.9	5.4	11.7	9.5	2.9	0.5	100.0

（注）回答者数は、第 10-13 表の保証人を必要とする数（3,471 人）

学校までの所要通学時間（第 10-15 表）については、全国平均で「30 分以内」が 6 割以上の 3,925 人（63.4%）と最も多く、以下、「1 時間以内」が 1,534 人（24.8%）、「1 時間 30 分以内」が 517 人（8.3%）となっている。東京在住では、「30 分以内」が 1,041 人（52.4%）で約 5 割である。

第 10-15 表 学校までの所要通学時間

(Q14・26 参照)

区分		30 分以内	1 時間以内	1 時間 30 分以内	2 時間以内	2 時間以上	不明	計
全国平均	人数 (人)	3,925	1,534	517	134	28	55	6,193
	率 (%)	63.4	24.8	8.3	2.2	0.5	0.9	100.0
	平成 21 年率 (%)	57.8	28.4	9.7	2.7	0.7	0.6	100.0
	平成 19 年率 (%)	55.0	28.2	11.8	3.6	1.1	0.2	100.0
東京在住	人数 (人)	1,041	638	216	61	11	20	1,987
	率 (%)	52.4	32.1	10.9	3.1	0.6	1.0	100.0
	平成 21 年率 (%)	44.1	38.3	12.2	4.0	1.0	0.3	100.0
	平成 19 年率 (%)	39.2	38.1	15.6	5.6	1.5	0.0	100.0

11. 授業料等の保証人

大学・学校の授業料等の保証人の要否(第 11-1 表)は、「求められた」と回答した者が 3,669 人(59.2%)、「求められなかった」と回答した者が、2,476 人(40.0%)となっており、約 6 割が保証人を求められている。

第 11-1 表 授業料等の保証人の要否 (Q15 参照)

区分	求められた	求められていない	不明	計
人数(人)	3,669	2,476	48	6,193
率(%)	59.2	40.0	0.8	100.0
平成 21 年率(%)	58.3	40.3	1.3	100.0
平成 19 年率(%)	62.9	36.2	0.9	100.0

在籍学校別の保証人の要否(第 11-2 表)を見ると、「求められた」と回答した者のうち、国立大学は 36.4%(367 人)で、他の区分と比較して割合が低くなっている。

第 11-2 表 在籍学校別の保証人の要否 (Q10・11・15 参照)

区分		保証人要	保証人不要	不明	計	
大学	国立	人数(人)	367	636	6	1,009
		率(%)	36.4	63.0	0.6	100.0
		平成 21 年率(%)	40.0	58.4	1.6	100.0
		平成 19 年率(%)	46.6	52.9	0.5	100.0
	公立	人数(人)	58	50	1	109
		率(%)	53.2	45.9	0.9	100.0
		平成 21 年率(%)	62.4	37.6	0.0	100.0
		平成 19 年率(%)	72.3	27.7	0.0	100.0
	私立	人数(人)	1,763	905	17	2,685
		率(%)	65.7	33.7	0.6	100.0
		平成 21 年率(%)	64.7	34.4	0.9	100.0
		平成 19 年率(%)	66.5	32.6	0.9	100.0
	大学計	人数(人)	2,188	1,591	24	3,803
		率(%)	57.5	41.8	0.6	100.0
		平成 21 年率(%)	58.1	40.9	1.1	100.0
		平成 19 年率(%)	61.6	37.6	0.8	100.0
短期大学	人数(人)	40	19	1	60	
	率(%)	66.7	31.7	1.7	100.0	
	平成 21 年率(%)	56.0	39.0	5.0	100.0	
	平成 19 年率(%)	68.5	31.5	0.0	100.0	
専修学校 (専門課程)	人数(人)	635	473	7	1,115	
	率(%)	57.0	42.4	0.6	100.0	
	平成 21 年率(%)	59.1	39.1	1.8	100.0	
	平成 19 年率(%)	67.5	31.1	1.4	100.0	
日本語教育機関	人数(人)	806	393	16	1,215	
	率(%)	66.3	32.3	1.3	100.0	
	平成 21 年率(%)	—	—	—	—	
	平成 19 年率(%)	—	—	—	—	
合計	人数(人)	3,669	2,476	48	6,193	
	率(%)	59.2	40.0	0.8	100.0	
	平成 21 年率(%)	58.3	40.3	1.3	100.0	
	平成 19 年率(%)	62.9	36.2	0.9	100.0	

また、授業料の保証人の種類（第 11-3 表）としては、「親族」が 2,527 人（68.9%）と最も多く、約 7 割となっている。次いで、「日本人の知人」が 409 人（11.1%）となっている。

第 11-3 表 授業料の保証人の種類

（Q16 参照）

区分	大学・学校 （代表者）	大学・学校 の指導教員	国際交流団 体（代表者）	過去に在籍してい た日本語教育機関 （代表者・教員）	日本人の 知人	日本人以外 の知人	親族	その他	不明	計
人数（人）	149	175	32	110	409	141	2,527	59	67	3,669
率（%）	4.1	4.8	0.9	3.0	11.1	3.8	68.9	1.6	1.8	100.0
平成 21 年率（%）	4.9	7.0	1.1	4.7	16.2	4.8	59.1	1.3	0.8	100.0
平成 19 年率（%）	6.2	7.7	1.4	—	23.2	5.5	52.1	3.2	0.9	100.0

（注）回答者数は、第 11-1 表の保証人を必要とする数（3,669 人）

12. 健康

大学・学校に入学してからの病気経験の有無とその時の対処の仕方（第 12-1 表）として、「病院に行った」が 2,907 人（46.9%）と最も多く、次いで、「薬局で薬を買って治した」が 2,581 人（41.7%）、「学校の保健管理センターや医務室に行った」が 1,000 人（16.1%）となっている。

なお、「病気やけがをしたことがない」が 2,102 人（33.9%）となっている。

第 12-1 表 大学・学校に入学してからの病気経験の有無とその時の対処の仕方（複数回答設問）（Q33 参照）

区分	病気やけがをしたことがない	学校の保健管理センターや医務室に行った	病院に行った	薬局で薬を買って治した	病院にも薬局にも行かないで、我慢した	その他	不明
人数（人）	2,102	1,000	2,907	2,581	674	119	134
率（%）	33.9	16.1	46.9	41.7	10.9	1.9	2.2
平成 21 年率（%）	30.4	17.4	50.8	42.3	11.4	0.9	3.5
平成 19 年率（%）	27.5	20.0	55.5	42.1	9.9	1.9	1.2

健康保険加入状況（第 12-2 表）については、6,013 人（97.1%）が何らかの健康保険に加入していると回答している。

第 12-2 表 健康保険加入状況（Q34(1) 参照）

区分	健康保険に加入している	健康保険に加入していない	不明	計
人数（人）	6,013	172	8	6,193
率（%）	97.1	2.8	0.1	100.0
平成 21 年率（%）	94.5	5.1	0.3	100.0
平成 19 年率（%）	93.1	5.8	1.1	100.0

加入している健康保険の種類（第 12-3 表）については、健康保険に加入している学生の 94.9%にあたる 5,705 人が「（日本の）国民健康保険」に加入しており、その他に、「海外旅行・留学保険」に 461 人（7.7%）、「親や兄弟、配偶者等の家族が加入している健康保険」に 235 人（3.9%）、「所属する機関の健康保険」に 249 人（4.1%）が加入している。

第 12-3 表 加入している健康保険の種類（複数回答設問）（Q34(2) 参照）

区分	（日本の）国民健康保険	海外旅行・留学保険	親や兄弟、配偶者等の家族が加入している健康保険	所属する機関の健康保険	その他	不明
人数（人）	5,705	461	235	249	48	48
率（%）	94.9	7.7	3.9	4.1	0.8	0.8
平成 21 年率（%）	95.2	5.4	3.8	2.5	0.5	0.8
平成 19 年率（%）	96.2	4.9	3.2	2.9	1.3	0.7

（注）率は、第 12-2 表の健康保険加入者数（6,013 人）を 100 とした割合

居住地域別国民健康保険の加入率（第 12-4 表）は、全国的に約 9 割が加入している。

第 12-4 表 居住地域別国民健康保険の加入率（Q26・34(2) 参照）

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	不明	計
人数（人）	98	183	2,860	706	930	250	79	572	27	5,705
率（%）	94.2	95.8	94.4	95.8	95.6	95.1	95.2	96.8	65.9	94.9

（注）回答者数は、第 12-3 表の国民健康保険加入者数（5,705 人）

年度別の居住地域別国民健康保険の加入率（第 12-5 表）を見ると、四国地方を除いて全国的に上昇している。

第 12-5 表 年度別の居住地域別国民健康保険の加入率（年度別比較表）（Q26・34(2)参照）

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	計
平成 23 年	94.2	95.8	94.4	95.8	95.6	95.1	95.2	96.8	94.9
平成 21 年	91.4	88.3	89.8	90.9	90.2	92.8	95.6	89.8	90.0
平成 19 年	82.9	83.4	89.2	91.7	91.1	92.4	95.8	90.9	89.5

国民健康保険の地域別保険料月額（第 12-6 表）について、全体では、「1,000 円以上 1,500 円未満」が 1,737 人（30.4%）と最も多い。居住地域別にみると、東北地方及び近畿地方では「2,000 円以上 2,500 円未満」、北海道、中国地方、九州地方では「1,500 円以上 2,000 円未満」、その他の地域では「1,000 円以上 1,500 円未満」がそれぞれ最も多い。

第 12-6 表 国民健康保険の地域別保険料月額（Q26・34(3)参照）

区分		無料	500 円未満	500 円～1,000 円未満	1,000 円～1,500 円未満	1,500 円～2,000 円未満	2,000 円～2,500 円未満	2,500 円～3,000 円未満	3,000 円～3,500 円未満	3,500 円以上	不明	計
		北海道	人数 (人)	10	1	4	13	50	9	4	2	2
	率 (%)	10.2	1.0	4.1	13.3	51.0	9.2	4.1	2.0	2.0	3.1	100.0
東北	人数 (人)	6	9	6	27	36	50	23	1	21	4	183
	率 (%)	3.3	4.9	3.3	14.8	19.7	27.3	12.6	0.5	11.5	2.2	100.0
関東	人数 (人)	23	45	441	1,219	384	158	153	114	272	51	2,860
	率 (%)	0.8	1.6	15.4	42.6	13.4	5.5	5.3	4.0	9.5	1.8	100.0
中部	人数 (人)	17	11	43	232	152	89	45	32	70	15	706
	率 (%)	2.4	1.6	6.1	32.9	21.5	12.6	6.4	4.5	9.9	2.1	100.0
近畿	人数 (人)	6	10	21	69	308	351	66	25	53	21	930
	率 (%)	0.6	1.1	2.3	7.4	33.1	37.7	7.1	2.7	5.7	2.3	100.0
中国	人数 (人)	2	1	3	47	109	25	28	4	25	6	250
	率 (%)	0.8	0.4	1.2	18.8	43.6	10.0	11.2	1.6	10.0	2.4	100.0
四国	人数 (人)	6	0	9	25	16	12	4	2	5	0	79
	率 (%)	7.6	0.0	11.4	31.6	20.3	15.2	5.1	2.5	6.3	0.0	100.0
九州	人数 (人)	8	11	12	100	277	73	36	12	32	11	572
	率 (%)	1.4	1.9	2.1	17.5	48.4	12.8	6.3	2.1	5.6	1.9	100.0
不明	人数 (人)	0	2	3	5	7	2	2	0	4	2	27
	率 (%)	0.0	7.4	11.1	18.5	25.9	7.4	7.4	0.0	14.8	7.4	100.0
合計	人数 (人)	78	90	542	1,737	1,339	769	361	192	484	113	5,705
	率 (%)	1.4	1.6	9.5	30.4	23.5	13.5	6.3	3.4	8.5	2.0	100.0

（注）回答者数は、第 12-3 表の国民健康保険加入者数（5,705 人）

また、国民健康保険料負担分布の年度別比較（第 12-7 表）を見ると、国民健康保険料が「2,000 円～3,000 円未満」の割合が上昇傾向にある。

第 12-7 表 国民健康保険料負担分布の年度別比較（Q34(2)・Q34(3)参照）

区分		無料	500 円未満	500 円～1,000 円未満	1,000 円～1,500 円未満	無料～1,500 円未満	1,500 円～2,000 円未満	2,000 円～2,500 円未満	2,500 円～3,000 円未満	3,000 円～3,500 円未満	3,500 円以上	不明	計
		平成 23 年	人数 (人)	78	90	542	1,737	2,447	1,339	769	361	192	484
	率 (%)	1.4	1.6	9.5	30.4	42.9	23.5	13.5	6.3	3.4	8.5	2.0	100.0
平成 21 年	人数 (人)	76	63	371	1,715	2,225	1,340	652	334	234	527	—	5,406
	率 (%)	1.4	1.2	6.9	31.7	41.2	24.8	12.1	6.2	4.3	9.7	—	100.0
平成 19 年	人数 (人)	46	64	638	1,645	2,393	1,194	489	220	219	508	—	5,151
	率 (%)	0.9	1.2	12.4	31.9	46.5	23.2	9.5	4.3	4.3	9.9	—	100.0

健康保険未加入の理由（第 12-8 表）を見ると、「保険料が高すぎる」が 68 人（39.5%）であり、「保険が必要だと思わない」も 64 人（37.2%）と、ほぼ同率になっている。

第 12-8 表 健康保険未加入の理由

（Q35 参照）

区分	保険料が高すぎる	保険が必要だと思わない	国民健康保険への加入の仕方がわからない	その他	不明	計
人数（人）	68	64	16	17	7	172
率（%）	39.5	37.2	9.3	9.9	4.1	100.0
平成 21 年率（%）	49.2	29.3	10.1	7.2	4.2	100.0
平成 19 年率（%）	49.7	31.0	9.2	6.8	3.3	100.0

（注）回答者数は、第 12-2 表の健康保険未加入者数（172 人）

13. 卒業後の進路希望等

卒業後の進路希望（第 13-1 表）として、「日本において就職希望」と回答した者が 3,234 人（52.2%）で最も多く、次いで、「日本において進学希望」が 3,073 人（49.6%）となっている。

第 13-1 表 卒業後の進路希望（全体）（複数回答設問）（Q36 参照）

区分	日本において 進学希望	日本において 就職希望	出身国におい て進学希望	出身国におい て就職希望	日本・出身国 以外の国にお いて進学希望	日本・出身国 以外の国にお いて就職希望	まだ決めてい ない	不明
人数（人）	3,073	3,234	260	1,719	526	445	356	84
率（%）	49.6	52.2	4.2	27.8	8.5	7.2	5.7	1.4
平成 21 年率（%）	44.6	56.9	3.6	28.5	10.3	7.6	7.1	2.0
平成 19 年率（%）	38.6	61.3	3.1	27.0	10.2	6.8	7.6	2.1

在籍段階別卒業後の進路希望（第 13-2 表）を見ると、「大学院博士課程・博士後期課程」では、「出身国において就職希望」が最も多く、「大学院修士課程・博士前期課程」、「専門職大学院課程」、「学部正規課程」、「学部レベルの研究生・聴講生」、「短期大学」では、「日本において就職希望」が最も多い。「大学院レベルの研究生」、「専修学校（専門課程）」、「日本語教育機関」では、「日本において進学希望」が最も多い回答となっている。

第 13-2 表 在籍段階別卒業後の進路希望（複数回答設問）（Q11・36 参照）

区分	日本において 進学希望	日本において 就職希望	出身国におい て進学希望	出身国におい て就職希望	日本・出身国 以外の国にお いて進学希望	日本・出身国 以外の国にお いて就職希望	まだ決めて いない	不明	
大学院博士課程 ・博士後期課程	人数（人）	46	234	18	255	34	59	49	4
	率（%）	10.8	55.2	4.2	60.1	8.0	13.9	11.6	0.9
大学院修士課程 ・博士前期課程	人数（人）	264	468	34	332	46	60	40	9
	率（%）	32.1	56.9	4.1	40.3	5.6	7.3	4.9	1.1
専門職大学院 課程	人数（人）	31	36	1	14	4	4	2	1
	率（%）	53.4	62.1	1.7	24.1	6.9	6.9	3.4	1.7
大学院レベルの 研究生	人数（人）	46	45	7	25	12	6	7	0
	率（%）	58.2	57.0	8.9	31.6	15.2	7.6	8.9	0.0
学部正規課程	人数（人）	1,037	1,418	103	671	308	192	133	29
	率（%）	45.0	61.5	4.5	29.1	13.4	8.3	5.8	1.3
学部レベルの 研究生・聴講生	人数（人）	33	51	9	24	12	10	3	3
	率（%）	37.9	58.6	10.3	27.6	13.8	11.5	3.4	3.4
短期大学	人数（人）	30	33	5	15	4	3	6	1
	率（%）	48.4	53.2	8.1	24.2	6.5	4.8	9.7	1.6
専修学校 （専門課程）	人数（人）	535	533	35	172	50	58	44	8
	率（%）	55.3	55.1	3.6	17.8	5.2	6.0	4.6	0.8
日本語教育機関	人数（人）	913	305	36	151	42	41	47	11
	率（%）	81.3	27.2	3.2	13.4	3.7	3.7	4.2	1.0
その他	人数（人）	105	92	11	47	11	11	20	15
	率（%）	50.2	44.0	5.3	22.5	5.3	5.3	9.6	7.2
不明	人数（人）	33	19	1	13	3	1	5	3
	率（%）	57.9	33.3	1.8	22.8	5.3	1.8	8.8	5.3
合計	人数（人）	3,073	3,234	260	1,719	526	445	356	84
	率（%）	49.6	52.2	4.2	27.8	8.5	7.2	5.7	1.4

（注）率は、第 1-4 表の各在籍段階別の回答者数を 100 とした割合

専攻分野別卒業後の進路希望（第 13-3 表）を見ると、「日本語」では、「日本において進学希望」が最も多い。「医・歯学」では、「出身国において就職希望」が最も多いが、他の分野では、「日本において就職希望」が最も多い。「薬学」では、「日本において進学希望」及び「日本において就職希望」が同率だった。

第 13-3 表 専攻分野別卒業後の進路希望（複数回答設問）（Q11・36 参照）

区分		日本において 進学希望	日本において 就職希望	出身国において 進学希望	出身国において 就職希望	日本・出身国 以外の国にお いて進学希望	日本・出身国 以外の国にお いて就職希望	まだ決めてい ない	不明
人文科学	人数(人)	212	313	23	190	55	45	47	12
	率(%)	38.2	56.4	4.1	34.2	9.9	8.1	8.5	2.2
社会科学	人数(人)	757	1,184	69	619	196	154	101	29
	率(%)	39.6	61.9	3.6	32.4	10.3	8.1	5.3	1.5
理学	人数(人)	69	83	9	48	17	11	14	0
	率(%)	43.1	51.9	5.6	30.0	10.6	6.9	8.8	0.0
工学	人数(人)	264	383	27	182	71	52	30	4
	率(%)	42.0	61.0	4.3	29.0	11.3	8.3	4.8	0.6
農学	人数(人)	49	51	9	47	23	11	5	1
	率(%)	43.0	44.7	7.9	41.2	20.2	9.6	4.4	0.9
医・歯学	人数(人)	21	23	5	33	12	8	10	0
	率(%)	31.3	34.3	7.5	49.3	17.9	11.9	14.9	0.0
薬学	人数(人)	8	8	1	7	2	2	0	0
	率(%)	50.0	50.0	6.3	43.8	12.5	12.5	0.0	0.0
家政	人数(人)	36	57	7	29	6	8	8	1
	率(%)	38.7	61.3	7.5	31.2	6.5	8.6	8.6	1.1
教育	人数(人)	74	88	10	64	15	21	11	0
	率(%)	44.8	53.3	6.1	38.8	9.1	12.7	6.7	0.0
日本語	人数(人)	1,210	486	62	241	64	56	76	12
	率(%)	76.6	30.8	3.9	15.3	4.1	3.5	4.8	0.8
その他	人数(人)	349	545	37	251	62	75	48	22
	率(%)	40.7	63.6	4.3	29.3	7.2	8.8	5.6	2.6
不明	人数(人)	24	13	1	8	3	2	6	3
	率(%)	51.1	27.7	2.1	17.0	6.4	4.3	12.8	6.4
合計	人数(人)	3,073	3,234	260	1,719	526	445	356	84
	率(%)	49.6	52.2	4.2	27.8	8.5	7.2	5.7	1.4

（注）率は、第 1-5 表の各専攻分野別の回答者数を 100 とした割合

「日本において就職希望」回答者の就職希望職種（第 13-4 表）としては、「海外業務」が 1,515 人（46.8%）で最も多く、次いで、「翻訳・通訳」1,120 人（34.6%）、「販売・営業」が 906 人（28.0%）となっている。

第 13-4 表 「日本において就職希望」回答者の就職希望職種（複数回答設問）（Q37(1) 参照）

区分	翻訳・ 通訳	技術開発	販売・ 営業	海外業務	学校等の 教育	調査研究	経営・ 管理業務	貿易業務	情報処理	設計	その他	不明
人数(人)	1,120	621	906	1,515	578	343	658	879	196	246	187	37
率(%)	34.6	19.2	28.0	46.8	17.9	10.6	20.3	27.2	6.1	7.6	5.8	1.1
平成 21 年率(%)	34.8	17.4	17.3	43.4	14.9	6.9	27.0	41.7	10.8	6.3	6.9	1.2
平成 19 年率(%)	31.8	16.0	14.0	43.0	12.8	5.6	27.5	44.4	12.2	5.3	7.2	0.8

（注）回答者数は、第 13-1 表の日本において就職希望を回答した数（3,234 人）

在籍段階別日本での就職希望職種（第 13-5 表）を見ると、「大学院博士課程・博士後期課程」では、「学校などの教育」が最も多く、次いで、「調査研究」、「技術開発」等の高度な専門知識を活かせると思われる分野をあげている。「専修学校（専門課程）」及び「日本語教育機関」では、「翻訳・通訳」が最も多く、他の在籍段階では、「海外業務」が最も多い回答となっている。

第 13-5 表 在籍段階別日本での就職希望職種（複数回答設問）（Q11・37(1) 参照）

区分		翻訳・通訳	技術開発	販売・営業	海外業務	学校等の教育	調査研究	経営・管理業務	貿易業務	情報処理	設計	その他	不明
大学院博士課程・博士後期課程	人数(人)	38	89	6	60	147	121	7	9	12	6	9	2
	率(%)	16.2	38.0	2.6	25.6	62.8	51.7	3.0	3.8	5.1	2.6	3.8	0.9
大学院修士課程・博士前期課程	人数(人)	168	120	101	258	96	75	92	126	34	32	15	1
	率(%)	35.9	25.6	21.6	55.1	20.5	16.0	19.7	26.9	7.3	6.8	3.2	0.2
専門職大学院課程	人数(人)	11	5	12	19	4	2	14	12	1	0	1	0
	率(%)	30.6	13.9	33.3	52.8	11.1	5.6	38.9	33.3	2.8	0.0	2.8	0.0
大学院レベルの研究生	人数(人)	21	8	13	22	6	8	12	7	6	1	1	0
	率(%)	46.7	17.8	28.9	48.9	13.3	17.8	26.7	15.6	13.3	2.2	2.2	0.0
学部正規課程	人数(人)	523	216	438	803	203	87	327	487	82	84	61	15
	率(%)	36.9	15.2	30.9	56.6	14.3	6.1	23.1	34.3	5.8	5.9	4.3	1.1
学部レベルの研究生・聴講生	人数(人)	13	10	17	22	8	2	13	14	2	4	4	1
	率(%)	25.5	19.6	33.3	43.1	15.7	3.9	25.5	27.5	3.9	7.8	7.8	2.0
短期大学	人数(人)	12	9	4	14	8	0	8	9	4	3	3	0
	率(%)	36.4	27.3	12.1	42.4	24.2	0.0	24.2	27.3	12.1	9.1	9.1	0.0
専修学校（専門課程）	人数(人)	181	88	177	151	48	16	101	118	35	76	64	11
	率(%)	34.0	16.5	33.2	28.3	9.0	3.0	18.9	22.1	6.6	14.3	12.0	2.1
日本語教育機関	人数(人)	110	60	87	105	48	25	62	71	16	34	26	6
	率(%)	36.1	19.7	28.5	34.4	15.7	8.2	20.3	23.3	5.2	11.1	8.5	2.0
その他	人数(人)	38	15	41	54	9	5	18	21	2	5	3	1
	率(%)	41.3	16.3	44.6	58.7	9.8	5.4	19.6	22.8	2.2	5.4	3.3	1.1
不明	人数(人)	5	1	10	7	1	2	4	5	2	1	0	0
	率(%)	26.3	5.3	52.6	36.8	5.3	10.5	21.1	26.3	10.5	5.3	0.0	0.0
合計	人数(人)	1,120	621	906	1,515	578	343	658	879	196	246	187	37
	率(%)	34.6	19.2	28.0	46.8	17.9	10.6	20.3	27.2	6.1	7.6	5.8	1.1

(注) 1. 回答者数は、第 13-1 表の日本において就職希望を回答した数 (3,234 人)
 2. 率は、第 13-2 表の各在籍段階別の日本において就職希望を回答した者を 100 とした割合

専攻分野別就職希望職種（第13-6表）を見ると、「人文科学」、「日本語」では「翻訳・通訳」が、「理学」、「工学」、「薬学」では「技術開発」が、「家政」では「販売・営業」が、「社会科学」、「農学」では「海外業務」が、「教育」では「学校等の教育」が、「医・歯学」では「調査研究」が最も多い。

第13-6表 専攻分野別就職希望職種（複数回答設問）（Q12・37(1)参照）

区分		翻訳・通訳	技術開発	販売・営業	海外業務	学校等の教育	調査研究	経営・管理業務	貿易業務	情報処理	設計	その他	不明
人文科学	人数(人)	176	15	75	151	110	37	33	82	7	11	15	2
	率(%)	56.2	4.8	24.0	48.2	35.1	11.8	10.5	26.2	2.2	3.5	4.8	0.6
社会科学	人数(人)	411	78	443	689	162	95	356	449	54	25	29	14
	率(%)	34.7	6.6	37.4	58.2	13.7	8.0	30.1	37.9	4.6	2.1	2.4	1.2
理学	人数(人)	12	49	15	39	20	23	11	11	13	3	4	0
	率(%)	14.5	59.0	18.1	47.0	24.1	27.7	13.3	13.3	15.7	3.6	4.8	0.0
工学	人数(人)	48	277	29	133	50	76	31	38	59	42	15	4
	率(%)	12.5	72.3	7.6	34.7	13.1	19.8	8.1	9.9	15.4	11.0	3.9	1.0
農学	人数(人)	11	26	11	34	11	13	4	9	1	0	1	0
	率(%)	21.6	51.0	21.6	66.7	21.6	25.5	7.8	17.6	2.0	0.0	2.0	0.0
医・歯学	人数(人)	3	5	1	3	6	12	0	0	1	0	9	0
	率(%)	13.0	21.7	4.3	13.0	26.1	52.2	0.0	0.0	4.3	0.0	39.1	0.0
薬学	人数(人)	1	5	1	5	2	3	1	0	0	0	0	0
	率(%)	12.5	62.5	12.5	62.5	25.0	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
家政	人数(人)	8	13	20	14	10	4	17	10	2	20	4	0
	率(%)	14.0	22.8	35.1	24.6	17.5	7.0	29.8	17.5	3.5	35.1	7.0	0.0
教育	人数(人)	48	2	17	43	52	11	8	22	3	1	3	2
	率(%)	54.5	2.3	19.3	48.9	59.1	12.5	9.1	25.0	3.4	1.1	3.4	2.3
日本語	人数(人)	215	79	147	188	92	37	89	131	19	43	31	5
	率(%)	44.2	16.3	30.2	38.7	18.9	7.6	18.3	27.0	3.9	8.8	6.4	1.0
その他	人数(人)	181	70	144	211	60	31	102	126	35	100	76	10
	率(%)	33.2	12.8	26.4	38.7	11.0	5.7	18.7	23.1	6.4	18.3	13.9	1.8
不明	人数(人)	6	2	3	5	3	1	6	1	2	1	0	0
	率(%)	46.2	15.4	23.1	38.5	23.1	7.7	46.2	7.7	15.4	7.7	0.0	0.0
合計	人数(人)	1,120	621	906	1,515	578	343	658	879	196	246	187	37
	率(%)	34.6	19.2	28.0	46.8	17.9	10.6	20.3	27.2	6.1	7.6	5.8	1.1

(注) 1. 回答者数は、第13-1表の日本において就職希望を回答した数(3,234人)
2. 率は、第13-3表で各専攻分野別の日本において就職希望を回答した者を100とした割合

就職活動時の要望（第13-7表）としては、「留学生を対象とした就職に関する情報の充実」と回答した者が2,291人(70.8%)となっている。

第13-7表 就職活動時の要望（複数回答設問）（Q37(2)参照）

区分	留学生を対象とした就職に関する情報の充実	在留資格の変更手続きの簡素化、手続き期間の短縮化	在留資格の変更が弾力的に認められるよう規制緩和	学校における留学生を対象とした就職説明会の充実	企業においてもっと留学生を対象とした就職説明会を開催してほしい	留学生を対象としたインターンシップの充実	学校の留学生に対する就職相談窓口の充実	その他	不明
人数(人)	2,291	1,351	963	955	1,364	893	749	26	39
率(%)	70.8	41.8	29.8	29.5	42.2	27.6	23.2	0.8	1.2
平成21年率(%)	71.9	40.3	29.4	29.6	46.6	24.4	21.5	1.8	1.1
平成19年率(%)	72.1	41.5	31.3	27.9	46.8	22.5	23.0	1.5	1.4

(注) 回答者数は、第13-1表の日本において就職希望を回答した数(3,234人)

参考資料

平成23年度 私費外国人留学生生活実態調査

アンケート用紙

へいせい ねんど し ひ がいこくじんりゅうがくせいせいかつじったいちようさ
平成23年度私費外国人留学生生活実態調査

ようし
アンケート用紙

Lifestyle Survey of Privately Financed International Students
Questionnaire

どくりつぎょうせいほうじんにほんがくせいしえんきこう (JASSO) は、「がくしゅうしょうれいひ」のしきゅう、「にほんりゅうがくしけん」のじっし、しゅうしょく
独立行政法人日本学生支援機構 (JASSO) は、「学習奨励費」の支給、「日本留学試験」の実施、就職
じょうほう ていきよう にほん こ りゅうがくせい みな しえん だんたい
情報の提供など、日本に来られている留学生の皆さんを支援している団体です。

このアンケートは、みなさん、そしてこれからにほんへこ りゅうがくせい えんじょじぎょう やくだ
のもので、皆さん、そしてこれから日本へ来られる留学生のための援助事業に役立てるため
のもので、

アンケートには、あなたのおなまえやがっこうなまをかくひつよう
アンケートには、あなたのお名前や学校名などを書く必要はありません。あなたのプライバシーは
しんがい
侵害されませんので、ごきょうりやくをおねがひします。

Japan Student Services Organization (JASSO) is an organization which offers enhanced support programs : providing scholarships to international students, administering “Examination for Japanese University Admission for International Students” and offering employment information.

This questionnaire is for using for the assistance of various support programs for international students in Japan and prospective students.

It is not necessary for you to write your name and school at this questionnaire.

We ask your kind cooperation.

かいとうほうほう
回答方法 How to answer

それぞれのしつもん、がいとうするばんごう・きんがくをアンケートかいとうようしの中に入れて、かいとうようしをざいせき
それぞれの質問の、該当する番号・金額をアンケート回答用紙の□の中に記入し、回答用紙を在籍する
がっこう りゅうがくせいだんとうしや ていしゆつ
学校の留学生担当者に提出してください。()には具体例があれば記入してください。

※1 アンケートかいとうようしは、にほんごばん えいごばんのどちらか一方を使用してください。りょうほう かいとう
※1 アンケート回答用紙は、日本語版・英語版のどちらか一方を使用してください。両方に回答しな
いでください。

※2 このようしにはかいとうしないでください。

Please answer each question and fill the applicable number and amount in □ of answer form, and **submit it to your school**. If you select “Others” in the question, please fill in a suitable word.

※1 Please use the answer form of either in Japanese or in English.

※2 Please don't use this questionnaire for answering.

－アンケート－

Questionnaire

べっし かいとうようし きにゆう
別紙の回答用紙に記入してください。

Please fill in the attached answer form.

【あなたのことについてお聞きします。About yourself】

Q 1. あなたの性別はどちらですか。 Please select your gender.

1. 男 Male 2. 女 Female

Q 2. あなたの出身国・地域はどこですか。

1～30以外の人は、回答用紙のその他の欄に、国・地域名を記入してください。

Please select your home country or region. If you select “Others”, please fill in the name of your home country or region.

1. 中国 China 2. 韓国 Korea 3. 台湾 Taiwan 4. ベトナム Vietnam
5. マレーシア Malaysia 6. タイ Thailand 7. アメリカ United States
8. インドネシア Indonesia 9. ネパール Nepal 10. バングラデシュ Bangladesh
11. モンゴル Mongolia 12. ミャンマー Myanmar 13. スリランカ Sri Lanka
14. フランス France 15. ドイツ Germany 16. インド India
17. フィリピン Philippines 18. イギリス Great Britain 19. カナダ Canada
20. ロシア Russia 21. カンボジア Cambodia 22. ブラジル Brazil
23. オーストラリア Australia 24. エジプト Egypt 25. サウジアラビア Saudi Arabia
26. ラオス Laos 27. イラン Iran 28. スウェーデン Sweden
29. ウズベキスタン Uzbekistan 30. シンガポール Singapore 31. その他 Others

Q 3. 留学の目的は何ですか。(3つまで複数回答可)

What is the purpose of your study? (Three answers are possible.)

1. 学位を取得する To obtain an academic degree
2. 教養を身につける To acquire a culture
3. 就職に必要な進んだ技能や知識を身につける To obtain a knowledge and skill for future career development
4. 国際的な経験をつんで、国際的な人脈を作りたい To make an international network
5. 国際的な考え方を身につけたい To acquire a wide perspective
6. 良い環境で研究を行う To research in good academic environment

7. 日本語の能力を高めたい To upgrade a Japanese language skill
8. 他文化に接する To experience a different culture
9. その他 Others

【日本に留学する前のことについてお聞きします。 Before studying in Japan】

Q 4. 日本を留学先として選んだ理由は何でしたか。(3つまで複数回答可)
Why did you choose study in Japan? (Three answers are possible.)

1. 日本社会に興味があり、日本で生活したかったため
Interested in Japanese society and wanted to live in Japan
2. 日本の大学等の教育、研究が魅力的と思ったため
Felt that education and research in Japanese universities are attractive
3. 地理的に近いため Geographically close to Japan
4. 興味ある専門分野があったため Offered studies in a particular field of interest
5. 異文化に接したかったため Wanted to experience a different culture
6. 日本語・日本文化を勉強したかったため Wanted to learn Japanese and Japanese culture
7. 日本と関連のある職業に就きたかったため Wanted to work in a Japan-related profession(job)
8. 奨学金を得られたため Received scholarship
9. 友人、知人、家族等に勧められたため
Recommended by my friend, acquaintance and family etc.
10. 大学間交流等により勧められたため
Recommended through the inter-university exchange agreement
11. その他 Others

Q 5. 日本に留学するまでに特に苦労したことは何でしたか。(3つまで複数回答可)
What were your problems before arriving at Japan? (Three answers are possible.)

- | | |
|---|------------------------------|
| 1. 情報の収集 Gathering information | 2. 日本語学習 Learning Japanese |
| 3. 留学先学校との事前連絡 Contact with Japanese school | 4. 留学ビザ取得 Getting visa |
| 5. 留学資金準備 Preparation of expenses | 6. 入学試験 Entrance examination |
| 7. その他 Others | |

Q 6. 留学する前に、どのような方法で留学情報を入手しましたか。(3つまで複数回答可)
How did you gather information on study in Japan? (Three answers are possible.)

1. 日本留学フェア、教育展等に参加して Japan education fair or seminar
2. 入学を希望する学校に直接問い合わせして Contact with school I wish to enroll in
3. 在外日本大使館等の在外公館に問い合わせして Japanese embassy or consulate general
4. 母国の政府教育機関に問い合わせして Government organization of my home country or region
5. 日本学生支援機構(JASSO)に問い合わせして JASSO

6. インターネットを利用して学校や日本学生支援機構(JASSO)のHPを検索して Internet
7. その他の民間団体に問い合わせして Private foundation
8. 日本の出版物を購入して Publication
9. 母国の学校や教員に相談して School in my home country or region
10. 親戚や友人に相談して Relative or friend
11. その他 Others

【日本に来てから現在通っている学校に入学するまでのことについてお聞きします。After arriving at Japan】

Q7. 日本に来てから何年経ちますか。How many years have passed after arriving at Japan?

1. 1年未満 Less than 1 year
2. 1年～2年未満 1～2 years
3. 2年～3年未満 2～3 years
4. 3年～4年未満 3～4 years
5. 4年～5年未満 4～5 years
6. 5年～6年未満 5～6 years
7. 6年以上 More than 6 years

Q8. 日本に来たあと、今在籍している学校の課程に、すぐ入学しましたか。

(回答用紙のどちらかに○をつけてください。)

Did you enroll in your current school immediately after arriving at Japan?

1. はい (Q10へ進んでください。) Yes (Go to Q10.)
2. いいえ No



Q9. Q8で「いいえ」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

日本に来たあと、今在籍している学校の課程に入学する直前は何をしていましたか。

(一番最近のものを1つ回答)

If you selected “No” above, please answer the following question.

What were you doing before enrolling in your current school?

1. 日本語教育機関で勉強していた Studying at Japanese language institution
2. 留学生別科で勉強していた Studying at preparatory Japanese language course
3. 大学の学部で勉強していた Studying undergraduate course at the university
4. 短期大学で勉強していた Studying at junior college
5. 高等専門学校で勉強していた Studying at college of technology
6. 専修学校(専門課程)で勉強していた Studying at professional training college
7. 大学院で勉強していた Studying at graduate school
8. 働いていた Working
9. その他 Others

【現在通っている学校などについてお聞きします。Your current school】

Q 10. あなたの学校は次のどれですか。(回答用紙のあてはまるものに○をつけてください。)

Please select your school type.

1. 国立 National 2. 公立 Local public 3. 私立 Private

Q 11. 学校ではどの課程で学んでいますか。Please select your course.

1. 大学院博士課程・博士後期課程 Doctoral course
2. 大学院修士課程・博士前期課程 Master's course
3. 専門職大学院課程 Professional graduate school
4. 大学院レベルの研究生 Research student at graduate level (non degree)
5. 学部正規課程 Undergraduate degree course
6. 学部レベルの研究生・聴講生 Research student/Auditor at undergraduate level (non degree)
7. 短期大学 Junior college 8. 専修学校(専門課程) Professional training college
9. 日本語教育機関 Japanese language institution 10. その他 Others

Q 12. 在籍する学校における専攻分野は何ですか。Please select your major.

1. 人文科学(文学、歴史、哲学等)
Human sciences (Literature, History, Philosophy etc.)
2. 社会科学(法律、政治、経済、社会学等)
Social sciences (Law, Politics, Economics, Sociology etc.)
3. 理学(数学、物理、化学、生物学等)
Natural sciences (Mathematics, Physics, Chemistry, Biology etc.)
4. 工学(機械工学、電子工学、応用化学等)
Engineering (Mechanical engineering, Electrical engineering, Applied chemistry etc.)
5. 農学(農業経済、農芸、獣医畜産、水産学等)
Agriculture (Agricultural economics, Agricultural science, Animal and Veterinary science, Fisheries science etc.)
6. 医・歯学 Medicine/Dentistry 7. 薬学 Pharmacy
8. 家政(食物、被服、住居学等)
Home economics (Food science, Clothing science, Housing science etc.)
9. 教育 Education 10. 日本語 Japanese 11. その他 Others

Q 13. 1週間当たりの勉強時間を教えてください。(学校での授業時間を除く。)

How many hours do you study for a week? (except the classes in your school)

1. 7時間未満 Less than 7 hours 2. 7～14時間未満 7～14 hours
3. 14～21時間未満 14～21 hours 4. 21～28時間未満 21～28 hours
5. 28～35時間未満 28～35 hours 6. 35～42時間未満 35～42 hours

7. 42～49時間未満 じかん みまん 42～49 hours

8. 49時間以上 じかん いじょう More than 49 hours

Q14. 現在住んでいるところから、在籍する学校までの所要通学時間（片道）はどのくらいですか。

How long does it take from your house to your school? (one way)

1. 30分以内 ぶんい Less than 30 minutes
2. 1時間以内 じかんい One hour
3. 1時間30分以内 じかん ぶんい One and a half hours
4. 2時間以内 じかんい 2 hours
5. 2時間以上 じかんいじょう More than 2 hours

Q15. 学校の授業料等の保証人を求められましたか。

(回答用紙のどちらかに○をつけてください。)

Were you required a guarantor for the payment of tuition?

1. はい Yes
2. いいえ (Q17へ進んでください。) No (Go to Q17.)



Q16. Q15で「はい」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

学校の授業料等の保証人は誰ですか。

If you selected “Yes” above, please answer the following question.

Who is your guarantor for the payment of tuition?

1. 大学・学校（代表者） だいがく がっこう だいひょうしゃ School (representative)
2. 大学・学校の指導教員 だいがく がっこう しどうきょういん Academic advisor
3. 国際交流団体（代表者） こくさいこうりゅうだんたい だいひょうしゃ International exchange organization (representative)
4. 過去に在籍していた日本語教育機関（代表者・教員） かこ ざいせき にほんごきょういくきかん だいひょうしゃ きょういん
Former Japanese language institution (representative/teacher)
5. 日本人の知人 にほんじん ちじん Acquaintance (Japanese)
6. 日本人以外の知人 にほんじんいがい ちじん Acquaintance (non Japanese)
7. 親族 しんぞく Relative
8. その他 た Others

【日本への印象等についてお聞きします。Your impression of Japan】

Q 17. 日本に留学してから、日本に対する印象は良くなりましたか。

(回答用紙のあてはまるものに○をつけてください。)

Has your impression of Japan been changed?

1. 良くなった Got better 2. 悪くなった Got worse 3. どちらともいえない Neither one

Q 18. 日本に留学してから日本人に対する印象は良くなりましたか。

(回答用紙のあてはまるものに○をつけてください。)

Has your impression of Japanese people been changed?

1. 良くなった Got better 2. 悪くなった Got worse 3. どちらともいえない Neither one

Q 19. 日本に留学して、良かったですか。

(回答用紙のあてはまるものに○をつけてください。)

How would you describe your impression of studying in Japan?

1. 良かった Good 2. 悪かった Not good 3. どちらともいえない Neither one

Q 20. 日本に留学してから苦労したことは何でしたか。(3つまで複数回答可)

What are your problems in Japan? (Three answers are possible.)

1. 物価が高い High prices
2. 日常生活における母国の習慣(生活習慣、宗教上の習慣等)との違い
Difference from the customs of my home country or region in daily life (lifestyle, religious etc.)
3. 宿舎等を探すこと Finding accommodation
4. 宿舎等におけるルール(ゴミ出し等)を守ること
Following the rule in accommodation (how to put out the garbage bags etc.)
5. 日本語の習得 Japanese acquisition
6. 英語の習得 English acquisition
7. 学校内で日本人学生と交流できないこと
Less interchange with Japanese students in school
8. 学校の教員、職員とのコミュニケーションが取れないこと
Less communication with teachers and staffs in school
9. 学校の授業についていくこと Catching up with the classes of school
10. その他 Others

【1ヶ月の収入と支出についてお聞きします。Your monthly income and expenses】

Q21とQ23は、下の注意を読んで記入してください。

—回答の例—

(1) 仕送り	約	63,000	円
(2) アルバイト	約	29,000	円
(3) 奨学金			
A. 学習奨励費	約	48,000	円
B. 大学・学校	約		円
C. 地方自治体	約		円
D. 民間団体	約		円
E. その他	約		円
(4) 知人の援助	約		円
(5) 配偶者収入	約		円
(6) その他	約		円

(1) 学習研究費			
A. 授業料	約	44,000	円
B. 授業料以外	約	10,000	円
C. サークル等	約		円
(2) 通学費	約	8,000	円
(3) 食費	約	25,000	円
(4) 住居費	約	36,000	円
(5) 電気ガス水道	約	8,000	円
(6) 保険医療費	約	3,000	円
(7) 趣味娯楽	約	5,000	円
(8) その他	約		円
(9) 残額	約	1,000	円

けい計 約 140,000 円

けい計 約 140,000 円

※ Q21とQ23の合計額は、同じ金額になるようにしてください。

※ Q23の授業料(1ヶ月分の金額)は、1年間の授業料を12で割る、または半年の授業料を6で割って金額を算出してください。なお、授業料には、入学金などの一時的にかかる経費は含みません。

(例) 1年間の授業料 528,000円 → 月額 44,000円

※ 記入する金額は、原則として1,000円単位で記入してください。

× 8,235円 ○ 8,000円

Please answer Q21 and Q23 after reading the following notices.

— Example —

Q21

(1) Allowance	about	63,000	yen
(2) Part-time job	about	29,000	yen
(3) Scholarship			
A. JASSO	about	48,000	yen
B. On campus	about		yen
C. Local government	about		yen
D. Private foundation	about		yen
E. Others	about		yen
(4) Acquaintance	about		yen
(5) Spouse	about		yen
(6) Others	about		yen

Q23

(1) Study fee			
A. Tuition	about	44,000	yen
B. Except tuition	about	10,000	yen
C. Club activity	about		yen
(2) Transportation	about	8,000	yen
(3) Food	about	25,000	yen
(4) Rent	about	36,000	yen
(5) Electricity etc.	about	8,000	yen
(6) Insurance etc.	about	3,000	yen
(7) Hobby etc.	about	5,000	yen
(8) Miscellaneous	about		yen
(9) Balance	about	1,000	yen

Total about 140,000 yen

Total about 140,000 yen

Same amount

※ “A. Tuition” of Q23 is monthly tuition (except entrance fee and temporary fee).
 When you know only the tuition for one year, please divide it by 12.
 Tuition for one year 528,000 yen → **Monthly tuition 44,000 yen**

※ Please fill the amount of money per 1,000 yen. × 8,235 yen ○ 8,000 yen

Q 2 1. 1ヶ月の平均的な収入はどれくらいですか。それぞれの項目について、回答用紙の□の中に金額を記入してください。なお、□には該当する数字だけ記入してください。
How much is your monthly average income?

(1) 親・兄弟、又は親戚からの仕送り

Allowance

約 about

円yen/月month

(2) アルバイト

Part-time job

--

(3) 奨学金 Scholarship

A. 日本学生支援機構の奨学金 (65千円または48千円)

JASSO's scholarship

B. 大学・学校からの奨学金

On-campus scholarship

C. 地方自治体 (都道府県市区町村) による奨学金

Local government scholarship

D. 民間団体の奨学金

Private foundation scholarship

E. その他の奨学金

Others

(4) 保証人等知人からの援助

Support from a guarantor or an acquaintance

(5) 配偶者の収入

Spouse's income

(6) その他

Others

合計 Total amount

約 about

円yen/月month

--

↑ Q 2 3 の支出の合計が確認してください。
Same as the total amount of Q23

Q 2 2. Q 2 1 (3) で日本学生支援機構の奨学金 (学習奨励費) を受けていると答えた人は、以下の質問に答えてください。(受けていない人はQ 2 3 へ進んでください。)
If you receive JASSO's scholarship, please answer the following questions.
(If not, go to Q23.)

(1) 学習奨励費を受けて良かったことは何ですか。(3つまで複数回答可)

What are the merits of receiving JASSO's scholarship? (Three answers are possible.)

1. 日常生活に不安がなくなり、勉強に集中できた
Not having felt uneasiness about the daily life and could concentrate on study
2. 成績が良くなれば、学習奨励費を受けられると思ひ励みになった
Became encouragement of my study
3. 奨学金があるので学校のクラブ活動等に参加できるようになった
Could have taken part in club activities in my school
4. 宿舎を探すのにも奨学金があると有利だった
Advantage in finding accommodation
5. その他
Others

(2) 学習奨励費の給付に対して今後望むことは何ですか。(3つまで複数回答可)

What do you wish to JASSO's scholarship? (Three answers are possible.)

1. 給付金額の増額 To increase the amount
2. 受給者数の増加 To increase the number of scholars
3. 海外で奨学金予約ができるように予約者数を増やして欲しい
To increase the number of overseas applicants
4. 給付期間を1年間から延ばしてほしい To extend the duration from one year
5. 母国において、学習奨励費の情報が少なかったため、もっと情報提供して欲しい
More information
6. 学校内での選考について、もっと情報提供してほしい
More information on selection procedure of applicants in school
7. その他 Others

Q 2 3. 1ヶ月の平均的な支出はどれくらいですか。それぞれの項目について、回答用紙の□の中に金額
を記入してください。なお、□には該当する数字だけ記入してください。
 How much is your monthly average expenses?

(1) ^{がくしゅうけんきゅうひ} 学習研究費

Study fee

A. ^{じゅぎょうりょう いっかげつぶん きんがく} 授業料 (1ヶ月分の金額)

Tuition

やく about

えん yen / 月 month

B. ^{きょうかしょ じっしゅうざいりょう ぶんぐなど けいひ じゅぎょうりょういがい けいひ} 教科書、実習材料、文具等の経費 (授業料以外の経費)

Except tuition (Textbook, training material, stationery)

C. ^{かつどう かいひ がっしゅくひ} サークル活動の会費、合宿費

Club activities

(2) ^{つうがくひ ていきだいなど} 通学費 (定期代等)

Transportation

(3) ^{しょくひ} 食費

Food

(4) ^{じゅうきよひ いっかげつ やちん りょうひ} 住居費 (1ヶ月の家賃、寮費など)

Rent

(5) ^{でんき すいどうりょうきん} 電気、ガス、水道料金

Electricity, gas and water

(6) ^{ほけん いりょうひ} 保険、医療費

Insurance and medical

(7) ^{しゅみ ごらくひ} 趣味、娯楽費

Hobby and entertainment

(8) ^{た にちじょうでき けいひ} その他の日常的な経費 Miscellaneous

(^{ようふくだい でんわりょうきん こうつうひ しょうもうひんなど} 洋服代、電話料金、交通費、消耗品等) (Clothes, mobile phone etc.)

(9) ^{ざんがく} 残額

Balance

^{ごうけい} 合計 Total amount

やく about

--

えん yen / 月 month

↑ Q 2 1 の ^{しゅうにゅう ごうけい どうがく かくにん} 収入の合計と同額が確認してください。

↑ Same as the total amount of Q2 1

【アルバイトについてお聞きします。Part-time job】

Q 24. 現在、アルバイトをしていますか。(回答用紙のどちらかに○をつけてください。)

Do you work part-time?

1. はい Yes 2. いいえ (Q 26へ進んでください。) No (Go to Q26.)



Q 25. Q 24で「はい」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

If you selected “Yes” above, please answer the following questions.

(1) どのようなアルバイトをしていますか。(3つまで複数回答可)

What kind of part-time job? (Three answers are possible.)

1. 家庭教師 Homework teacher
2. 語学教師 Language teacher
3. 塾講師 Private supplementary school lecturer
4. ティーチングアシスタント (TA)・リサーチアシスタント (RA) Teaching assistant (TA)/Research assistant (RA)
5. 一般事務 Office work
6. 計算事務 Computing work
7. 清掃 Cleaning
8. 警備 Guard
9. ビル管理 Building management
10. ガソリンスタンド Gas stand
11. 配達 Delivery
12. 発送作業 Dispatch work
13. 飲食業 Food
14. 営業・販売 (コンビニ等) Business/Selling (convenience store etc.)
15. ホテル受付・ホール係 Reception/Hall
16. 出版物等の印刷作業 Printing work
17. 土木・建設作業 Construction work
18. 引越業 Moving work
19. 工場組立作業 Assembly work
20. 倉庫整理 Warehouse rearranging
21. 翻訳・通訳 Translation/Interpretation
22. プログラマー、オペレーター Computer programmer/Operator
23. グラフィック・デザイナー Computer graphic design
24. その他 Others

(2) 1週間に何時間アルバイトをしていますか。

How many hours do you work part-time in a week?

1. 5時間未満 Less than 5 hours
2. 5時間～10時間未満 5～10 hours
3. 10時間～15時間未満 10～15 hours
4. 15時間～20時間未満 15～20 hours
5. 20時間～25時間未満 20～25 hours
6. 25時間以上 More than 25 hours

(3) なぜアルバイトをするのですか。

Why do you work part-time?

1. 日本での生活を維持するために必要だから
It is necessary to maintain my life in Japan.
2. 日本人との交流など良い機会になるから
It is good opportunity for communicating with Japanese people.

3. 教養・娯楽などにあてる費用を得るため

It is necessary to earn money for my hobby and entertainment.

4. その他

Others

(4) 主としてやっているアルバイトの時給（1時間あたりの単価）はいくらですか。

How much is the hourly wage? (pay per hour)

- | | |
|------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 800円未満 Less than 800 yen | 2. 800円～1,000円未満 800～1,000 yen |
| 3. 1,000円～1,200円未満 1,000～1,200 yen | 4. 1,200円～1,400円未満 1,200～1,400 yen |
| 5. 1,400円～1,600円未満 1,400～1,600 yen | 6. 1,600円～1,800円未満 1,600～1,800 yen |
| 7. 1,800円～2,000円未満 1,800～2,000 yen | 8. 2,000円以上 More than 2,000 yen |

【住居についてお聞きします。Accommodation】

Q 2 6. 現在、どの地域に住んでいますか。Where do you live in?

- | | | | |
|-----------------|-------------------|------------------|------------------|
| 1. 北海道 Hokkaido | 2. 青森 Aomori | 3. 岩手 Iwate | 4. 宮城 Miyagi |
| 5. 秋田 Akita | 6. 山形 Yamagata | 7. 福島 Fukushima | 8. 茨城 Ibaraki |
| 9. 栃木 Tochigi | 10. 群馬 Gunma | 11. 埼玉 Saitama | 12. 千葉 Chiba |
| 13. 東京 Tokyo | 14. 神奈川 Kanagawa | 15. 新潟 Niigata | 16. 富山 Toyama |
| 17. 石川 Ishikawa | 18. 福井 Fukui | 19. 山梨 Yamanashi | 20. 長野 Nagano |
| 21. 岐阜 Gifu | 22. 静岡 Shizuoka | 23. 愛知 Aichi | 24. 三重 Mie |
| 25. 滋賀 Shiga | 26. 京都 Kyoto | 27. 大阪 Osaka | 28. 兵庫 Hyogo |
| 29. 奈良 Nara | 30. 和歌山 Wakayama | 31. 鳥取 Tottori | 32. 島根 Shimane |
| 33. 岡山 Okayama | 34. 広島 Hiroshima | 35. 山口 Yamaguchi | 36. 徳島 Tokushima |
| 37. 香川 Kagawa | 38. 愛媛 Ehime | 39. 高知 Kochi | 40. 福岡 Fukuoka |
| 41. 佐賀 Saga | 42. 長崎 Nagasaki | 43. 熊本 Kumamoto | 44. 大分 Oita |
| 45. 宮崎 Miyazaki | 46. 鹿児島 Kagoshima | 47. 沖縄 Okinawa | |

Q 2 7. どのような宿舎に住んでいますか。Which type of accommodation do you live in?

(1) どのような形態の宿舎に住んでいますか。

Which type of accommodation do you live in?

1. 民間アパート・マンション等 Private housing/Apartment
2. 大学・学校の留学生用宿舎 International student residence set up by school
3. 大学・学校の一般学生寮 Student hostel set up by school
4. 県・市・財団法人の留学生宿舎 International student housing set up by local government
5. 公営住宅等一般公的宿舎 Public housing
6. 企業の社員寮 Private company hostel
7. ホームステイ Home stay
8. その他 Others

- (2) 現在住んでいる部屋のうち、あなた個人が使用している面積はどの位の広さですか。
 (キッチン・バス・トイレは除いてください。2人以上で住んでいる場合は、キッチン・バス・トイレを除いた部屋の広さを、住んでいる人の数で割ってください。たたみ1枚の広さは約1.6㎡です。)

About rooms you live in, how large is the area that you use individually?

(Except kitchen, bath/shower and toilet. If you live with over two persons, please determine your own area. 1 tatami mat = about 1.6 m²)

1. 5㎡未満 (たたみ約3枚分)
Under 5 m² (3 tatami mats)
2. 5㎡～7.5㎡未満 (たたみ約4枚～4.5枚分)
5 m²～7.5 m² (4～4.5 tatami mats)
3. 7.5㎡～10㎡未満 (たたみ約5枚～6枚分)
7.5 m²～10 m² (5～6 tatami mats)
4. 10㎡～12.5㎡未満 (たたみ約7枚～7.5枚分)
10 m²～12.5 m² (7～7.5 tatami mats)
5. 12.5㎡～15㎡未満 (たたみ約8枚～9枚分)
12.5 m²～15 m² (8～9 tatami mats)
6. 15㎡～17.5㎡未満 (たたみ約10枚～10.5枚分)
15 m²～17.5 m² (10～10.5 tatami mats)
7. 17.5㎡～20㎡未満 (たたみ約11枚～12枚分)
17.5 m²～20 m² (11～12 tatami mats)
8. 20㎡～25㎡未満 (たたみ約13枚～15枚分)
20 m²～25 m² (13～15 tatami mats)
9. 25㎡以上 (たたみ約16枚分以上)
Over 25 m² (Over 16 tatami mats)

- (3) 現在住んでいる宿舎にキッチン、バス、シャワー、トイレはありますか。
 (回答用紙のあてはまるものに○をつけてください。)

Are there kitchen, bath/shower and toilet in your accommodation?

A. キッチン Kitchen

1. 部屋にある In my room 2. 部屋にはないが共同 Shared 3. なし Nothing

B. バス・シャワー Bath/Shower

1. 部屋にある In my room 2. 部屋にはないが共同 Shared 3. なし Nothing

C. トイレ Toilet

1. 部屋にある In my room 2. 部屋にはないが共同 Shared

Q 28. ^{ひとり}一人で住んでいますか。^{かいとうようし}(回答用紙のどちらかに○をつけてください。)

Do you live alone?

1. はい (Q 30へ^{すす}進んでください。) Yes (Go to Q30.) 2. いいえ No

Q 29. Q 28で「いいえ」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

If you selected “No” above, please answer the following questions.

(1) ^{どうきよ}同居している人は何人ですか。^{ほんにんいがい}(本人以外)

How many people do you live with? (except you)

1. ^{ひとり}1人 One person 2. ^{ふたり}2人 Two persons 3. ^{にん}3人 Three persons
4. ^{にん}4人 Four persons 5. ^{にんいじょう}5人以上 More than five persons

(2) ^{だれ}誰と同居していますか。

Whom do you live with?

1. ^{はいぐうしゃまた}配偶者又は^{かぞく}家族 Spouse or family 2. ^{がいこくじんりゅうがくせい}外国人留学生 International students
3. ^{にほんじんがくせい}日本人学生 Japanese students 4. ^たその他 Others

Q 30. 現在の^{げんざい}宿舎に入居が決まったとき、毎月の^{しゆくしや}家賃とは別に、いくら^{にゆうきよ}経費(敷金・礼金等)がかかりましたか。

How much did you pay the expenses (deposit) except the monthly rent in moving into your current accommodation?

1. なし Nothing
2. ^{まんえんみまん}5万円未満 Less than 50,000 yen
3. ^{まんえん}5万円～^{まんえんみまん}10万円未満 50,000～100,000 yen
4. ^{まんえん}10万円～^{まんえんみまん}20万円未満 100,000～200,000 yen
5. ^{まんえん}20万円～^{まんえんみまん}30万円未満 200,000～300,000yen
6. ^{まんえん}30万円～^{まんえんみまん}40万円未満 300,000～400,000 yen
7. ^{まんえん}40万円～^{まんえんみまん}50万円未満 400,000～500,000yen
8. ^{まんえんいじょう}50万円以上 More than 500,000 yen

Q 31. ^{しゆくしや}宿舎の^{ほしょうにん}保証人を求められましたか。^{かいとうようし}(回答用紙のどちらかに○をつけてください。)

Were you required a guarantor for the accommodation?

1. はい Yes 2. いいえ (Q 33へ^{すす}進んでください。) No (Go to Q33.)

Q 32. Q 31で「はい」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

^{げんざい}現在住んでいる^{しゆくしや}宿舎の^{ほしょうにん}保証人は誰ですか。

If you selected “Yes” above, please answer the question.

Who is your guarantor of the accommodation you live in?

1. 大学・学校 (代表者) School (representative)
2. 大学・学校の指導教員 Academic advisor
3. 国際交流団体 (代表者) International exchange organization (representative)
4. 過去に在籍していた日本語教育機関 (代表者・教員)
Former Japanese language institution (representative/teacher)
5. 日本人の知人 Acquaintance (Japanese)
6. 日本人以外の知人 Acquaintance (non-Japanese)
7. 親族 Relative
8. 保証人制度を利用する To use the guarantor system
9. その他 Others

【健康についてお聞きします。Your health】

Q 3 3. 学校に入学してから病気やけがをしたことがありますか。また、そのときどうしましたか。
(3つまで複数回答可)
Have you got disease or injuries since you enrolled in your school?
(Three answers are possible.)

1. 病気やけがをしたことがない No disease and injuries
2. 学校の保健管理センターや医務室に行った
Visited the health center or medical office in my school
3. 病院に行った Went to the hospital
4. 薬局で薬を買って治した Bought medicine
5. 病院にも薬局にも行かないで、我慢した Endured
6. その他 Others

Q 3 4. 健康保険についてお聞きします。 Health insurance

(1) 健康保険に加入していますか。(回答用紙のどちらかに○をつけてください。)
Do you join the health insurance?

1. はい Yes
2. いいえ (Q 3 5へ進んでください。) No (Go to Q35.)

(2) 前の質問で「はい」と答えた方にお聞きします。その健康保険の種類は次のどれですか。
(3つまで複数回答可)

If you selected “Yes” above, please answer the question.

Which kind of the health insurance? (Three answers are possible.)

1. (日本の) 国民健康保険 Japanese national health insurance system
2. 海外旅行・留学保険 Overseas travel insurance/Study abroad insurance
3. 親や、兄弟、配偶者などの家族が加入している健康保険 Health insurance of my family
4. 所属する機関の健康保険 Health insurance by school
5. その他 Others

(3) 1ヶ月に合計どのくらいの金額を払っていますか。(次はQ 3 6に進んでください。)
How much is the monthly payment of the health insurance? (Next Q36)

1. 無料 Free
2. 500円未満 Less than 500 yen

3. 500円えん～1,000円えん未満まん 500～1,000 yen
4. 1,000円えん～1,500円えん未満まん 1,000～1,500 yen
5. 1,500円えん～2,000円えん未満まん 1,500～2,000 yen
6. 2,000円えん～2,500円えん未満まん 2,000～2,500 yen
7. 2,500円えん～3,000円えん未満まん 2,500～3,000 yen
8. 3,000円えん～3,500円えん未満まん 3,000～3,500 yen
9. 3,500円えん以上じょう More than 3,500 yen

Q 3 5. 健康保険けんこうほけんに加入かにゆうしていない理由りゆうは次のどれですか。（加入している人は回答かいとうの必要ひつようはありません。）

What is the reason why you don't join the health insurance?

(If you selected "No" above, please answer the question.)

1. 保険料ほけんりょうが高たかすぎる Expensive
2. 保険ほけんが必要ひつようだと思おもわない Unnecessary
3. 国民健康保険こくみんけんこうほけんへの加入かにゆうの仕方しかたがわからない

Not knowing the subscription of the Japanese national health insurance system

4. その他た Others

【卒業後の予定そつぎょうごについてお聞きします。Your plan after finishing your school】

Q 3 6. 現在在籍する学校げんざいざいせきの卒業後の予定がっこう そつぎょうご よていはなんですか。（3つまで複数回答ふくすうかいとうか可）

What will you do after finishing your current school in Japan?

(Three answers are possible.)

1. 日本にほんにおいて進学希望しんがくきぼう Further study in Japan
2. 日本にほんにおいて就職希望しゅうしょくきぼう Employment in Japan
3. 出身国しゅっしんこくにおいて進学希望しんがくきぼう Further study in my home country or region
4. 出身国しゅっしんこくにおいて就職希望しゅうしょくきぼう Employment in my home country or region
5. 日本・出身国以外にほん しゅっしんこくいがいの国くににおいて進学希望しんがくきぼう Further study (except A1 and A3)
6. 日本・出身国以外にほん しゅっしんこくいがいの国くににおいて就職希望しゅうしょくきぼう Employment (except A2 and A4)
7. まだ決めていないまだ Not decided yet

Q 3 7. Q 3 6で「2. 日本にほんにおいて就職希望しゅうしょくきぼう」と答えた人こたえたひとは、次の質問つぎ しつもんに答えてください。

If you selected "Employment in Japan" above, please answer the following questions.

(1) どのような分野ぶんやに就職希望しゅうしょくきぼうをしていますか。（3つまで複数回答ふくすうかいとうか可）

What kind of job do you wish to engage in? (Three answers are possible.)

- | | |
|--|--|
| 1. 翻訳・通訳 <small>ほんやく つうやく</small> Translation/Interpretation | 2. 技術開発 <small>ぎじゆつかいぱつ</small> Technology development |
| 3. 販売・営業 <small>はんばい えいぎやう</small> Business/Selling | 4. 海外業務 <small>かいがいぎやうむ</small> Overseas business |
| 5. 学校などの教育 <small>がっこう ぎやういく</small> Education | 6. 調査研究 <small>ちやうさけんきゆう</small> Research |

7. 経営・管理業務 Management/Administration 8. 貿易業務 Trade
 9. 情報処理 Information processing 10. 設計 Design 11. その他 Others

(2) 日本での就職活動をする際に、どのようなことを望みますか。(3つまで複数回答可)

What do you expect in job hunting in Japan? (Three answers are possible.)

1. 留学生を対象とした就職に関する情報の充実
 More information on job hunting for international students
2. 在留資格の変更手続きの簡素化、手続き期間の短縮化
 Simplification of the changing status of residence and shortening of a procedure period
3. 在留資格の変更が弾力的に認められるよう規制緩和
 Relaxing the regulation to be more flexible for changing status of residence
4. 学校における留学生を対象とした就職説明会の充実
 More offering the job hunting seminars for international students by school
5. 企業においてもっと留学生を対象とした就職説明会を開催してほしい
 More offering the job hunting seminars for international students by company
6. 留学生を対象としたインターンシップの充実
 More substantial of internship for international students
7. 学校の留学生に対する就職相談窓口の充実
 More substantial of career consultation counter for international students
8. その他 Others

以上で終わりです。ご協力どうもありがとうございました。みなさんのご活躍をお祈りしています。
 Thank you for your kind cooperation!

平成23年度 私費外国人留学生生活実態調査

概 要

編集・発行 独立行政法人日本学生支援機構

【問合せ先】

独立行政法人日本学生支援機構 留学生事業部留学生事業計画課 企画調査室

〒135-8630 東京都江東区青海2-2-1

電 話 03-5520-6111

F A X 03-5520-6121

ホームページ <http://www.jasso.go.jp/>

©2012 年 <本書の一部または全部の無断複写、複製、転記等を禁じます。>